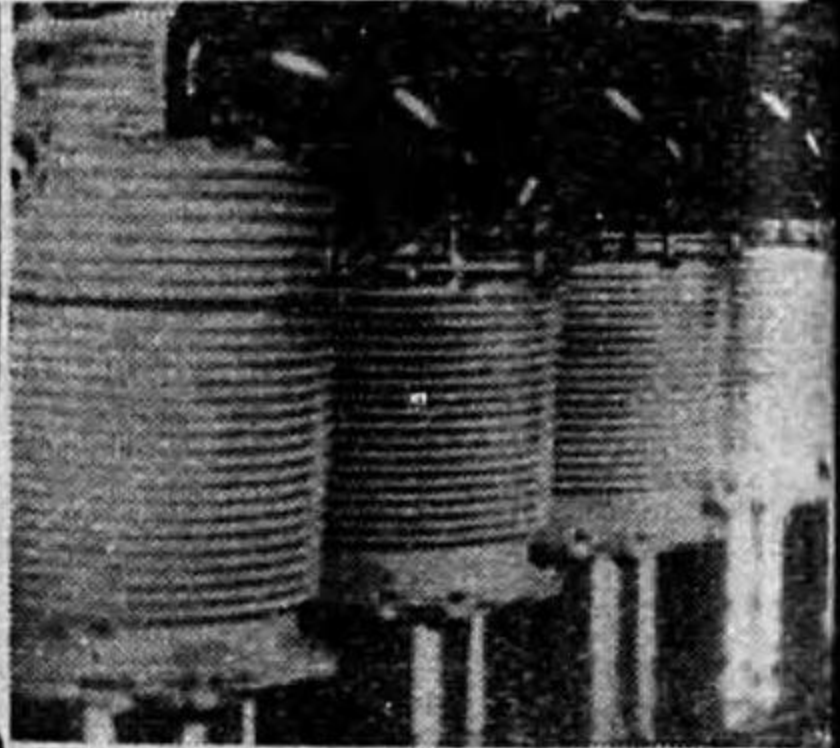




文  
部  
省  
社  
會  
教  
育  
局



昭  
和  
八  
年  
二  
月

# 文 部 省 教 育 映 畫 時 報

第  
十  
號  
(  
倍  
大  
號  
)



# 始





目次 (第十號)

發行所寄贈本

○新作映畫解説	1
飛行機の話	1
健康美	1三
狼は狼だ	二〇
兄弟こぐま	二五
○教育映畫評論	三〇
映畫問題とその國家的對策	三〇
第三回教育映畫國際會議の概要	四七
○教育映畫時報	六三
群馬縣廳映畫聯盟の創立	六三
香川縣映畫教育聯盟の創立	六六
○文部省推薦映畫目錄	七一





279-56

### 飛行機の話

近時飛行機の發達は眞に刮目に値すべきものあり、その需要任務に於ても亦あらゆる方面に於て緊要缺くべからざる文化機關となりつゝある。本映畫は斯く重要な現代機關に就て可成的に解り易科學的知識を與へやうとしたものであつて、先づ飛行機は如何にして飛揚するものであるかの根本原理に始まり、飛行機機體の製作工程及び、空冷式、水冷式兩發動機の製作工程を主眼として發動機の四行程作用に至る迄、その複雑なる工程及び機構を實寫及び線畫を以て解説し飛行機と他の交通機關との興味的な速度比較及商用軍用各飛行機の諸形式等にも及び、ひろく飛行機の特長能力の偉大さを説示したものである。

### 内容

### 第一卷

(太字はタイトル、細字は説明字句)

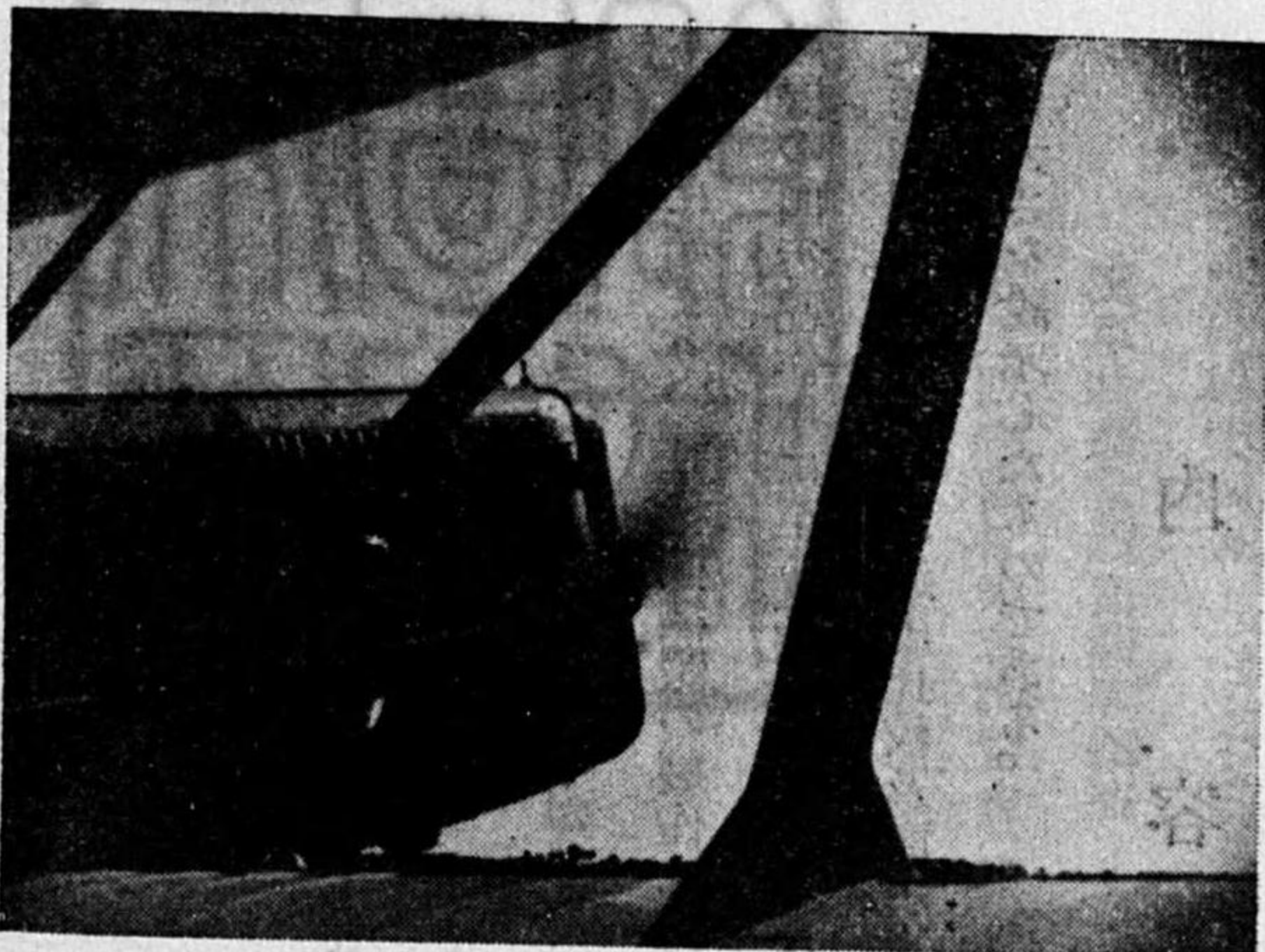
### 新作映畫解説

全三卷

- 文部省民衆娛樂及び映畫關係事務近況……………八〇
- 農村娛樂調査……………八〇
- 淺草映畫常設館觀客調査……………八二
- 第三回映寫技術者講習會(東京、大阪、福岡)……………八四
- 文部省映畫製作狀況……………八七
- フィルム頒布に就て……………八九
- フィルム貸與に就て……………九二
- 文部省製作映畫目錄……………九五

發行所 映畫本





ライト兄弟が北米ノースカロリナの海岸で機械力によつて人類最初の飛行を行つてから今日迄、三十有餘年間の飛行機の進歩發達は實に著しいものであつて、現今ではその能力效用の理想的なる點に於て又形態の美的なる事に於て現代機械力の最高の合理化の象徴といつても強ち過言ではないのである。

一體飛行機なるものは如何なる力の作用に依つて空中に浮び飛翔するのであらうか？

**飛行機はなぜ揚るか**

先づ飛行機の發動機はプロペラを急速に廻轉し、プロペラは機體を強力に推進させる

**機體が地上を走り出して翼に迅速な風があたると**

(線畫) 翼の廻りに空氣の循環の流れを生じ、その循環の流れと空氣の並行な流れとが組合つて特殊な

空氣の流れとなり翼をすひあげ、推し上げる力が働く。

**飛行機の操縦翼は操縦者の意のままに機體を動作させる**

**補助翼** 機體の左右傾斜を司る

**昇降舵** 機體の上昇下降を司る

**方向舵** 機體の方向轉換を司る

**飛行機機體の製作工程**

**飛行機の主要な材料は輕合金と鋼と木材とである**

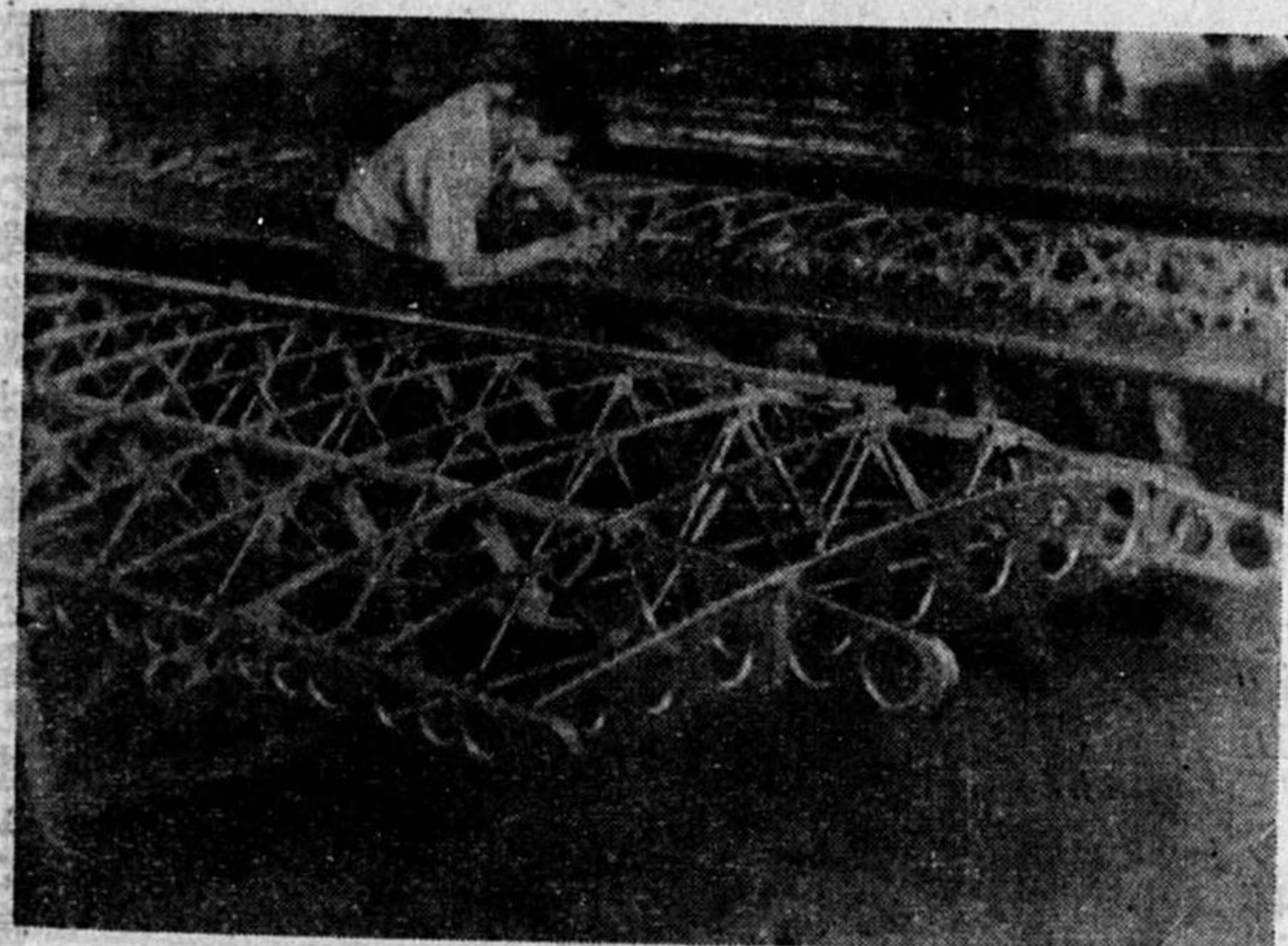
輕合金は主にアルミニウムやマグネシウム等の輕金屬の特殊合金であつて飛行機機體の殆ど全部を占めてゐるものである。近時各國とも鋼鐵製の機體材料を研究しつゝある。

**金屬翼の小骨製作**

機體製作は東京府下立川町の石川島飛行機製作所で陸軍の八八式輕爆撃機の製作工程を追つて撮影したものである。金屬翼の小骨はかうして流體力學研究の成果である一定の型に嚴密に合はされ全部リベットで組立てられて出來上る。

**主翼の桁**





金 屬 翼 の 製 作

主翼の桁は適當な大いさに切断した鋼板を二三枚つゝ合はしU形に柱げ、それを二本組合して検査をなし、主翼の根幹とする。

**主翼の骨組み**

輕くて頑丈な桁二本に翼小骨を嵌込む。

**尾翼の骨組み補助翼の骨組み**

**主翼小骨は木材でも作られる**

桁は前同様鋼であるが小骨丈を木材にする場合もある。木材の小骨は糊で膠着させる。

**方向舵の骨組み**

**翼布張り**

翼布は小骨に糸でかぶりつけるのである。

**翼は下塗りをして有色塗料を塗る**

**胴體の框の製作**

胴體の框も全部輕合金で、組合されて作られ、機械構成の本領は益々發揮されて來る。

**胴體の組立て**

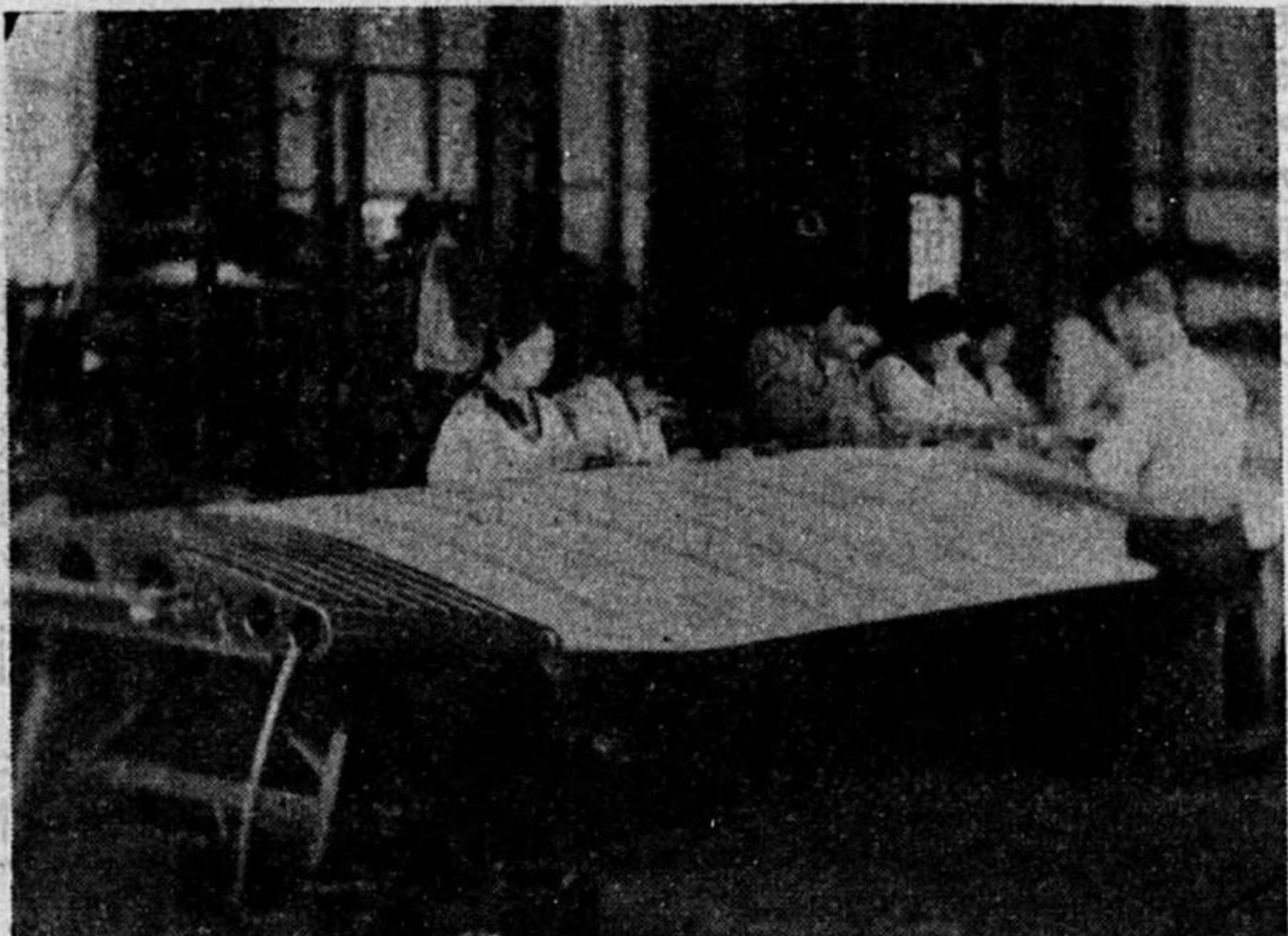
幾つかの大より小に至る框が組立臺に取付けられる。組立てられた胴體には必要の所に輕合金の板を張りつける。

**胴體の吹付け塗り**

翼と同じ有色塗料をこゝでは壓搾空氣によつて吹きつける。塗料は有害な爲め工人はマスクを掛けてゐる。

**部品の製作**

一つの飛行機製作には殆ど數へる事の出來ない程多くの部品が數多の熟練工によつて作られる。部品の主要なものは機體を支へる脚部であ



主 翼 の 布 張 り



り、上下の主翼を保つ支柱であり、飛行機の糧ガソリンのタンクである。その他無数の精細な部品が精密な製圖の統制と整備せる機械力の下に整へられる。

## 第二卷

### 機體の組立作業

かくして各部分品は機體組立工場に集められ、順次胴體に取付けられて行く。

### 操縦装置部品の取付け

機體の昇降左右傾斜を司る操縦桿方向舵の踏棒、發動機の運轉備品、各種のメーターその他操縦に關する装置は全部こゝに取付けられる。

### 中央翼の取付け

### 主翼の取付け

### 水平安定板

### 昇降舵の取付け

### 方向舵の取付け

かくして組立てられた機體はも一度嚴密な水準検査を行はれて、後は發動機とプロペラの取付

を待つ許りとなるのである。

### 金屬プロペラの製作

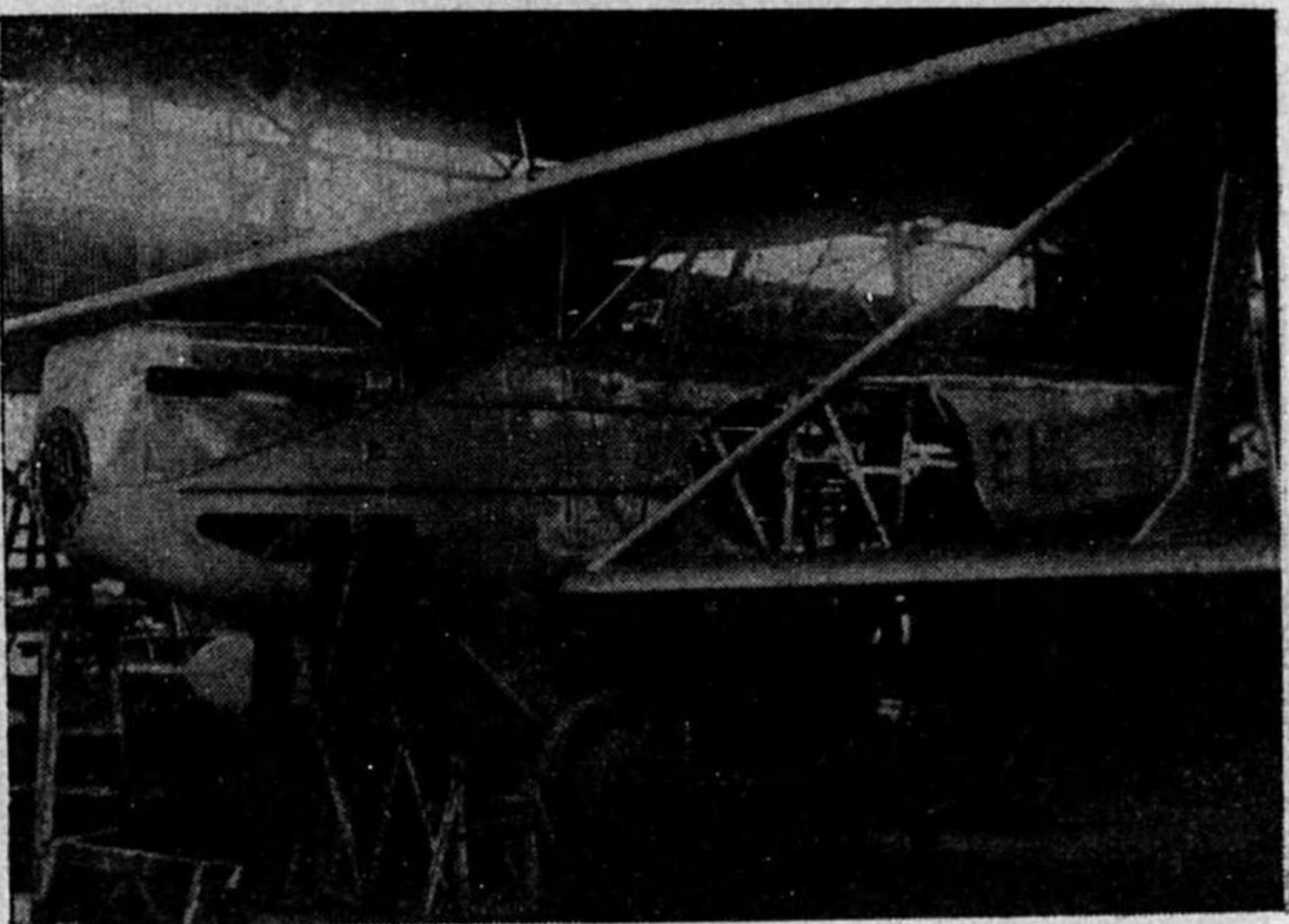
金屬プロペラの素材は輕合金を鍛造したものであつて、それに型をあてがつて理論的に正確なカーブ面を作り出して行くのである。之は中島飛行機株式會社東京工場で撮影した。

### 木材プロペラの製作

幾枚かの板を膠着させ所謂ベニヤ材にして整形をあてがつて正確にけづり漆を塗つて仕上げる。之は濱松の日本樂器製作株式會社で實況を撮影した。

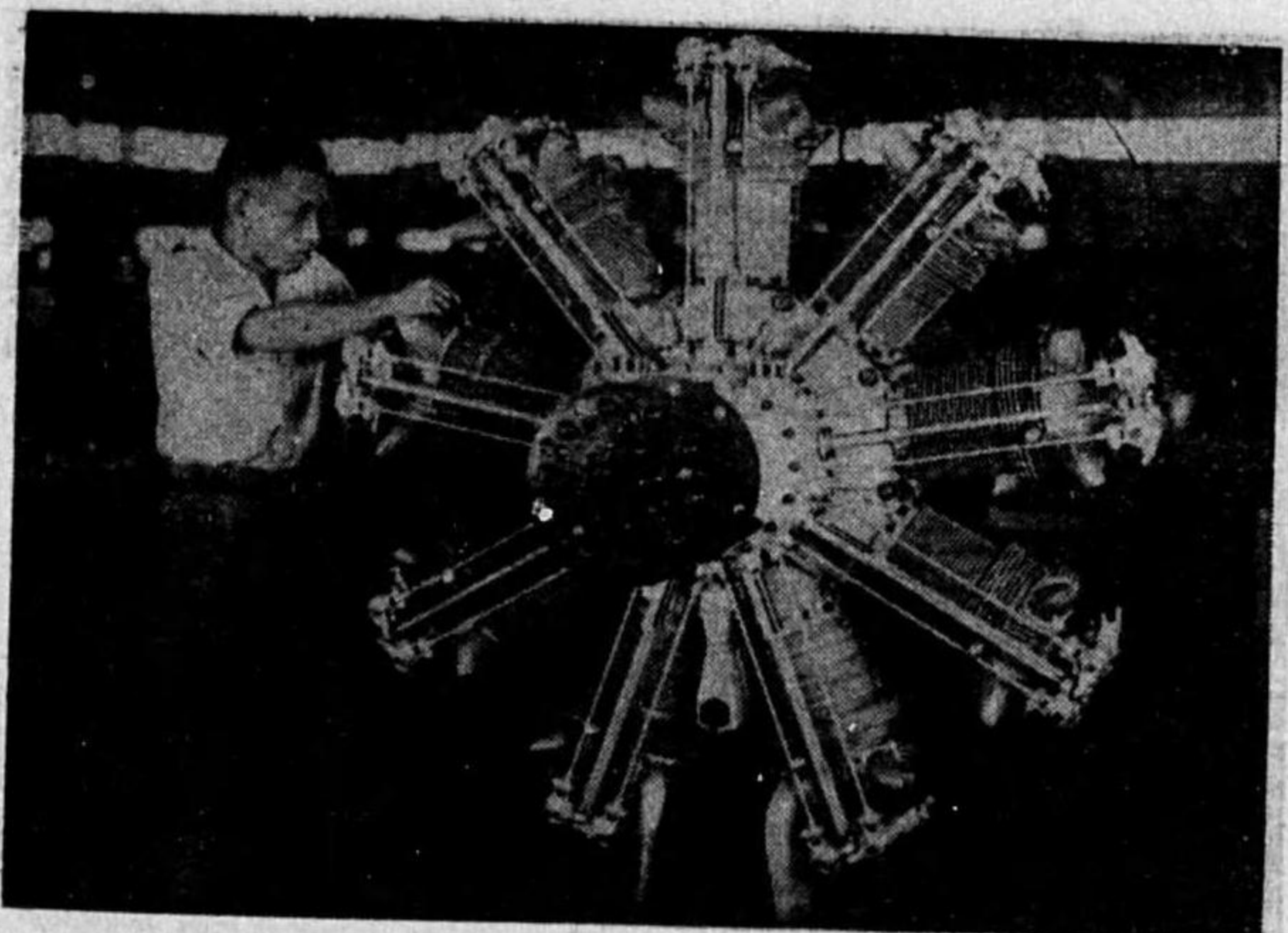
### 飛行機の心臓は發動機である

發動機には水冷式と空冷式とがある  
水冷式（運轉中水で冷却す）



立組體機の機爆輕式八八軍陸





星形四行程ガソリンエンジンの組立

空冷式（運轉中空気で冷却す）

八

エンジンの爆発する際の燃焼熱のため、<sup>シリンドライ</sup>気筒、ピストンの頭部排気弁等は攝氏五〇〇度から八〇〇度と云ふ高温に熱せられるので之を冷却するのに水冷と空冷とがあるのである。即ち（線畫）ピストン二往復で一廻の循環動作、吸入行程、壓縮行程、爆發行程、排気行程、を行ふのである。九つの気筒がついた時も同様に各気筒内では以上の様な動作を行ふのである。九気筒の場合は一つおきに爆發するのである。星形四行程ガソリンエンジン製作工程 材料は主として軽合金と鋼とである 發動機の各部の作用及重量等を考慮し、部品には兩者を使用するのである。

鑄物工場

こゝでは軽合金の鑄物作業が行はれる。

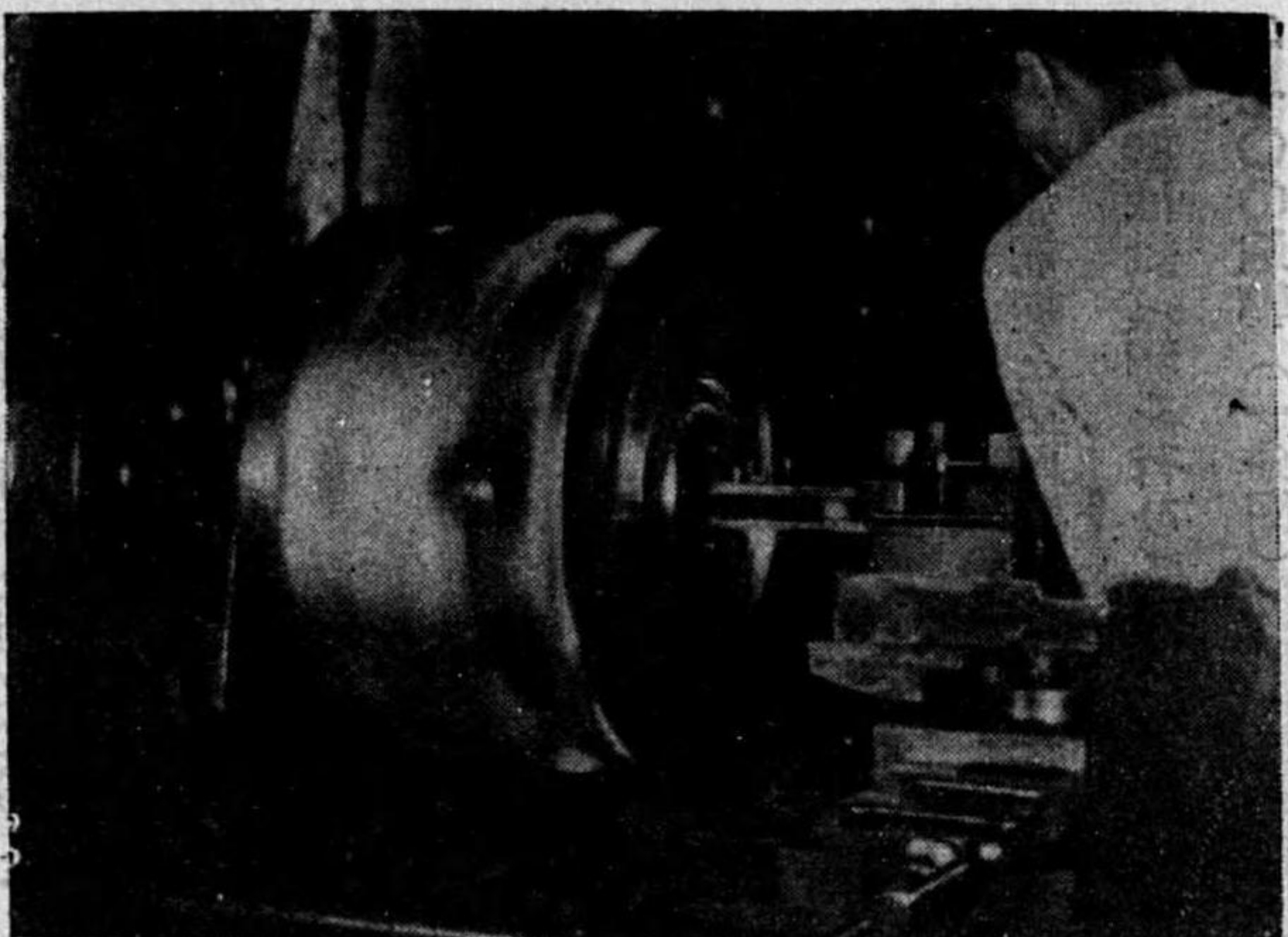
機械工場

素材を旋盤、フライス盤、研磨機等にかけて仕上げる。普通の機械工場の製品とは異り素材の時の重量の約十分の一までもけづり込まれる。

部品は非常に嚴密な検査を行ふ

カーブレイド  
氣化器

飛行機の糧ガソリンを爆發しやすいやうに空氣と混合して發動機に送る重要な使命を持つものである。手で動かされてゐるのがバターフライバルブで之に依てガソリンの量を加減し發動機  
の速度を調節するのである。



機械工場



### 星形四行程ガソリン發動機組立作業

仕上げられた部品は組立工場にピン一本ネヂ一つまで整頓し、熟練工によつて注意深く組立てられる。

コンネクティングロッド  
連桿とクランク軸

ピストン

クランク

気筒

スパーチャイヤー  
過給器

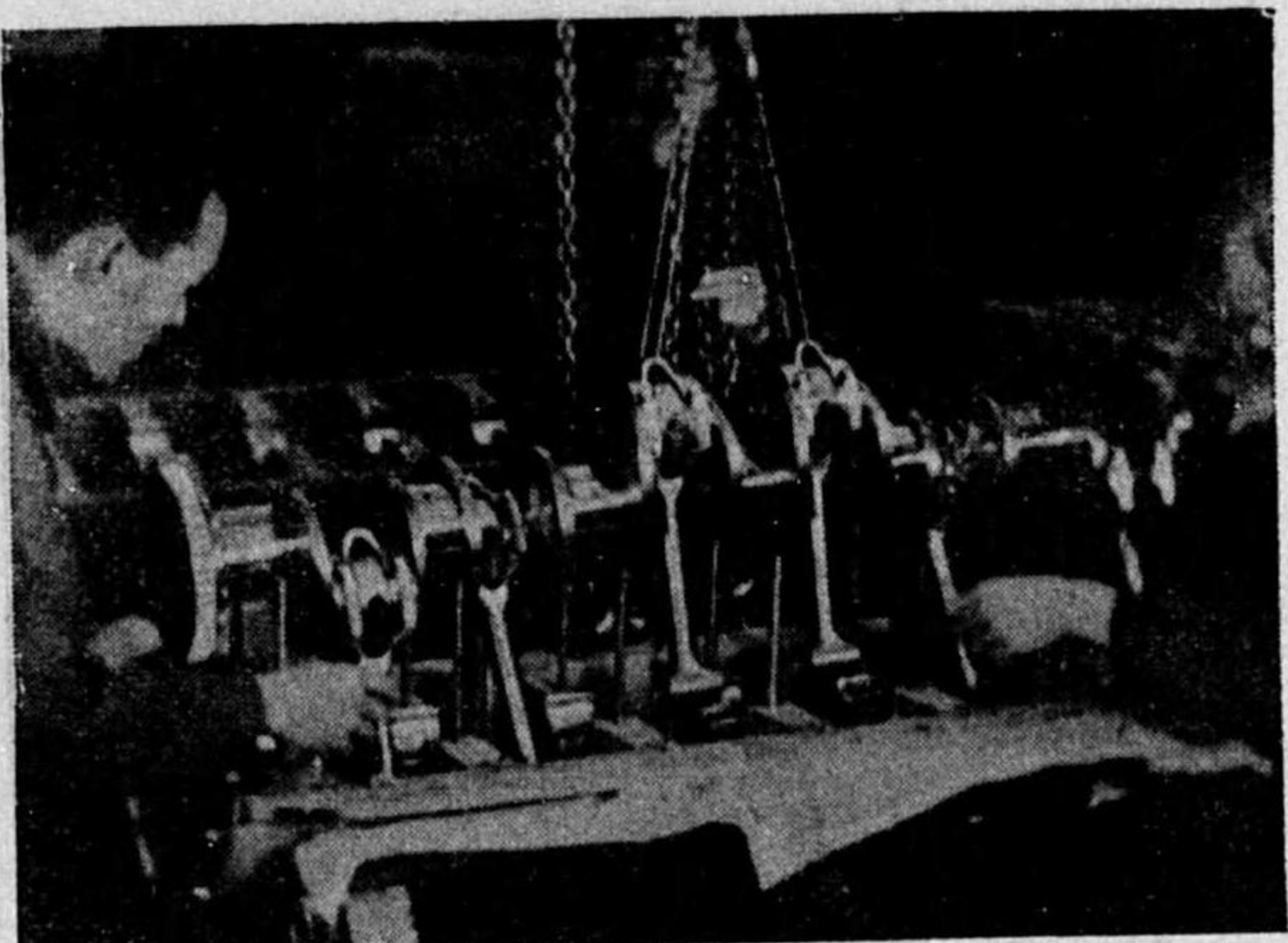
約六、〇〇〇米の上空に於ては空氣稀薄のため發動機の馬力は半減する。之は充分な空氣の供給が得られないためにガソリンが有効に爆發しないからである。その爲にこの過給器によつて空氣を補給するのである。

點火用發電機と點火栓

發動機は試運轉を行ひ各部を検査調整して機體に取付ける

一七〇〇迴轉（一分間）

1700 R. P. M.



V形ガソリン發動機の組立

プロペラは高速に廻轉するほど大馬力を出す事が出来るが、あまりに廻轉しすぎ、プロペラの双先が毎秒三三〇米即ち空氣中を傳はる高波の速さを超過した所謂音波の高速になると空氣を壓縮してしまひ徒らに眞空の中を廻轉する事となり機體を推進させなくなる。

V形四行程ガソリン發動機（水冷式）製作工程  
クランク軸  
星形とV形とではこの様にクランクの形が異なるのである。

發動機の部品

これは星形の場合と異なる所はない。

組立作業

試運轉



四五〇馬力

450 H. P.

内部の機構

ピストン、バルブ其他の運動に注意し線畫の際と實物の運動を良く比較研究すると面白い。

冷却水

飛行機と他の交通機關とのスピード比較

(線畫) 深く研究された理論と複雑精細な製作工程

との全的構成である飛行機はかくの如く、高速度と

空中輸送と云ふ特殊能力を持つて居るがために、

飛行機はそのスピードと特殊な輸送力とを以て

防空に

商用的に

現代最も重要な文化機關である

— 終 —



# 健康美

全三卷

太陽に恵まれ生氣に満ち萬物生成の力ある美しき自然、伸々とその中に働き生きてゐる人々の瀟々たる姿。これに反して都市生活に伴ふ不健康な環境と條件。我らはあらゆる機會に自然の唯一至高の恩恵である陽光と新鮮なる空氣とを求め、不健康を排除しなければならぬ。運動はそのよき一つの方法である。本映畫は適度の正しき運動こそ我らの上に健康をもたらしものであることを強調し健康美を讃へたる美しき體育映畫である。

## 内容

(太字はタイトル、細字は説明字句)

### 第一卷

在るがまゝの自然の美しさ、その美は限りなき健康の調を奏でゝゐる。

自然は太陽を浴びて潑潑として居る

自然の中に包藏せられ躍動する

限りなき力



水は波を逆巻き、火山は天地を震はせてゐる。  
森を渡り、木梢を吹く風、雨、あらし。

たゆまない自然の運行、計り知れない萬物生成の力  
自然は在るがまゝに美である。

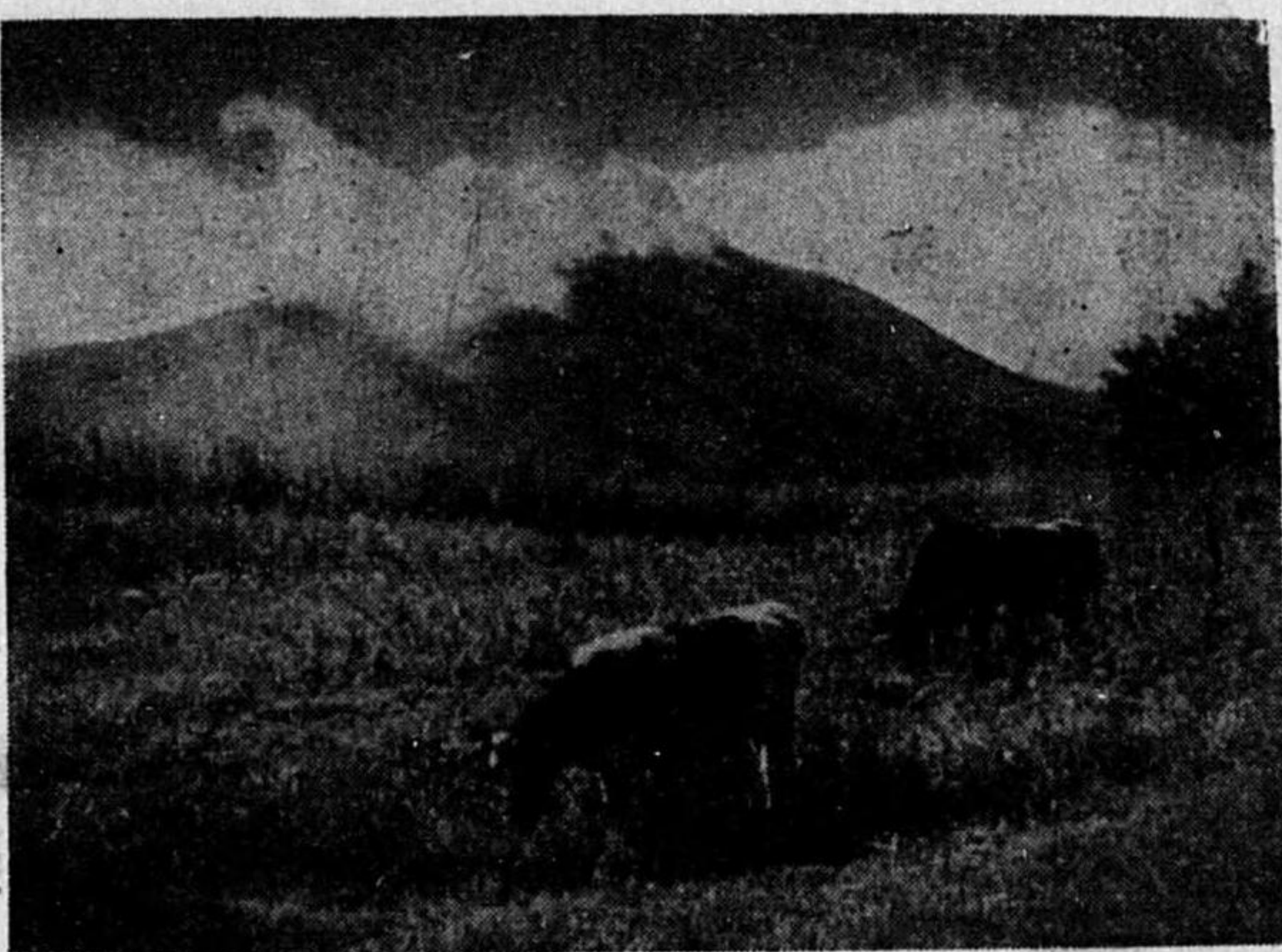
深山に咲き亂れる美はしの高山植物、花かげにひそ  
んでゐる可憐な胡蝶。平安明朗な萬物の美、自然は  
たくまづして既に美の相を具へてゐる。

自然の中に多くの生命が力強く成育する

靈妙にして不可思議なる自然力——あらゆる生物が  
その中にさまざまに生を営んでゐる。

自然力の源泉は太陽である。萬象悉く陽光を浴び、  
その恩恵を讃へてゐる。自然力の母——太陽。山野  
に満ち溢れたる太陽の不斷にして偉大なる美と力。

同じ太陽の下に



都會も亦生活して居る、人間の造つた都會。

鐵とコンクリートに包まれた都會

最早やそこには自然の姿は見られない。

都會人は繁激と騒音の中に生きて居る

そして都會人は自然の恩恵から遠ざかり、それを忘れやうとさへしてゐる。

自然の懷に生きて居る人々は

其の環境への調和により自ら平和な勞働が與へられ、心身の健康が造られて居る。

山の子

その健康にかどやいた瞳、豊かな頬。

深山に響く斧の音

樵夫が山の仕事にいそしんでゐる。

のどかな田園に

耕せる人、豊かな畑の實りと收穫。

喧囂と雑沓をよそに



水上生活者ののびやかに光あふれた世界。

第二卷

健かに伸びゆく海の子等

この胸この腕

それは全て、さえぎるものなき陽光と新鮮な大氣の中に生成された健康の成果である。再び眼を都會人の環境に轉ずれば、

この喧騒

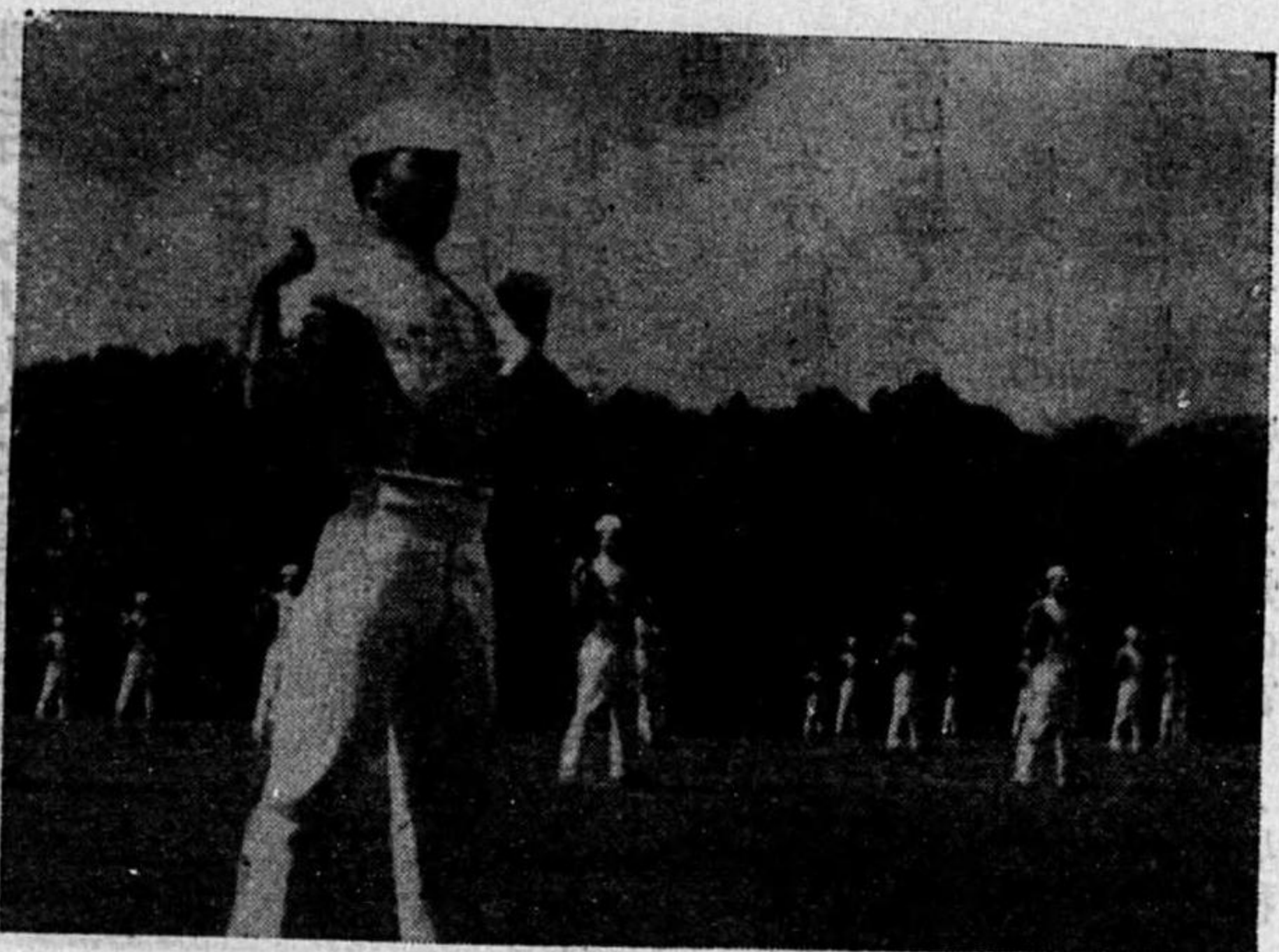
汚濁せる空氣

都會生活者は、兎角忘れがちである自然の偉大な恩恵を思ひ起さねばならない。

自然に還れ

外氣に觸れよ

陽光を浴びよ



陽光と大氣とをあらゆる機會に獲得せよ。

幼な子の心にかへつて

朗かに、のびやかに。

自然は我等をのびやかにする健康美への出發がこゝにある

戸外に出で、うららかな日光を浴び、新鮮な空氣を呼吸せよ。

運動 これが我等を自然に親しませる

健康獲得の爲めに自然に接する爲に我等は運動を擇ぶ。それは最も簡易に最も效果的に我等を陽光と大氣とに接觸せしめる方法である。然し――

スポーツもやり過ぎてはならない

蓋し運動も職業的になつたり、徒らに競技に偏つたりしては一般社會生活者の健康の爲には悪い實を結





ぶことがある。殊に

第三卷

身體の出来て居ない人に激しいスポーツは反つて危険である

即ち、先づ自分の身體と力とに省み、自分の健康の爲に第一歩から始めねばならない。即ち――

健康への道はもつと基礎的に

誰にでもやれる合理的な方法によつて實行されなければならぬ。適度の運動、組織的な體操などによつて我等は職業的畸型と不健康とを克服し積極的に文化生活に参加しなければならぬ。

みんなが歩調を合せて

健康へ向つて勢ひよく

營々として働く者



耕す者には收穫がある

營んで收穫を收むることに努めねばならない。

收穫

身體の鍛練に努めた者にも必ず收穫がなければならぬ。

健康こそ鍛練せる者への收穫である

この美この力

潑刺たる健康美

將來の我が日本を負ふものは實に潑刺たる青年の他にはない。

彼等の健康、その美こそやがて國の光である。

太陽を浴びて自然は潑刺として居る

太陽は自然の母であり、我らの健康の母胎である。

陽光を浴びよ

大氣に觸れよ

健康美を獲得せよ



# 狼は狼だ

全一卷

狼の暴虐に苛まれて困つてゐる村の動物達が相談の結果、狸が自發的に狼退治に出かけ、失敗して歸る。つひに猿の盡力に依り、猿橋を利用して狼を谷川に落してしまつたので、村からは暴虐が除かれ、平和が齎されたといふ教訓漫畫である。

## 内 容

(太字はタイトル、細字は説明字句)

動物の村の秋——大きな柿の木に枝もたわゝに實がなつてゐる。それを見つけた狸は羊を誘つて、食べに行く途中、いきなり人間に化けて氣の弱い羊をびつくりさせる。  
もう威かさなから勸辨しておくれよ……

狸は羊をなだめて柿の木の所まで行き、幹を揺つて落ちて來た柿を二人で手あたり次第に食べてゐると山の狼がふいに下りて來て羊をさらつて行つた。狸はやう／＼坂みちをころがつて逃げのびる。

その夜 暴虐な狼に對する對抗策を協議する爲に村會が開かれました

村長の山羊老人をはじめ一同思案にくれてゐると、

あゝさうだ好い考へがあるあつしにお委せ下さい

高慢屋の狸が自發的に狼退治を申し出た。しかし誰も信用しないので、狸は躍起となつて、

どうですこんな風にやつて……

と、得意の術で大きな章魚入道になつて見せる。そして、

これで狼の奴を威しておいてきつと生捕にしてお目にかけます

狸は得意げに、きつぱりと一同に宣言した。

翌朝

身仕度を整へた狸は意氣揚々と出立したが、さすが奥山に入るにつけ、何だか氣味悪くなつて來る。がその中とう／＼狼に見つかつたので勇氣を振つて、





## やい狼

と一喝する。そして大きな熊に化けはしたものの、  
牙を鳴らして寄つて来る狼に忽ちべそかき顔になつ  
てしまひ、あわてゝ章魚入道に化けなほした。しか  
し、

しまつた――

尻尾をかくすのを忘れてゐたので、忽ち見破られて  
しまひ、はふくの態で逃げ出す。

行く時の元氣は何處へやら、麓で待つてゐる多勢の  
仲間に、狸はすつかり面目をつぶしてしまつた。

かくて――

## 秋も過ぎ冬が訪れました

村も山もまつしるに雪になつて、兎の子たちが輪に  
なつて踊つてゐると、ふいに木の上のリスの遠目鏡



に恐しいものが映つた。

## 狼が山を下りて来たぞ――ツ

村は又上を下への大騒ぎ、兎はさつそく隣村の猿の所へ急を告げる。そして村長と鳩首相談の  
結果

## ようござす わつしに考へがあるから萬事お委せなさい

何事か深い思案をした猿は、子分を多勢つれて、奥山の谷川の邊りに現れた。そして丁度崖上  
で向ふ岸の山羊をねらつてゐる狼に呼びかける。

## こんにちは狼の大將

なんだ猿公か 好いところへ来たな……そこ動くな!

冗談ぢやありません わたしは貴方の臣ぢやありませんか わたし達は貴方を山羊の居る川向へお  
渡し申さうと思つて来たのです  
さうか宜しいすぐ案内せい

猿が合圖をすると多勢の子分が後から／＼這ひ上つて来て、忽ち向ふ岸へみごとな猿橋がかけ  
られる。猿はまづ渡つて行つて、橋の中段で、



しっかりと頼むよ

と何やら子分たちに言ひつけた。とは知らず狼は恐る恐る渡つて行つたが、まん中の所まで来た時、親分の猿の合圖によつてさつと猿橋が切れてしまった。狼は一たまりもなく深い谷川に墜ち、水煙が上る。つゞいて動物たちの歡呼の聲。

それから山の麓の村には再び幸福な日が返つてまゐりました

兄弟こぐま

全一卷



この映畫は、二匹の兄弟仔熊が、人間の眞似をして立つて歩く事を覚え、仲間のけもの達に得意になつてゐる所を、獵師に襲はれ、命からかく逃げ廻るうちに、やはり熊は熊らしく四つ這ひで歩く方が餘程よいといふことを悟るに至る——といふ教訓漫畫である。

内容

(太字はタイトル、細字は説明字句)

梢には小鳥が囀つてゐる——春である。蛙も愉快に踊つてゐる。

兄熊が面白がつてそれを眺めてゐる。母熊が言つたお馬になつて外へ遊びに行つておいで

母熊は弟の仔熊を兄の背に乗せてやつた。



人間を見たら氣を付けなよいちばん恐いんだから

母熊の固い戒めを、それ程にも思はない無邪氣な兄弟仔熊は、嬉々として走り出した。  
兄さんあちらでお角力をとらうよ

ようし——兄弟の仔熊は夢中になつて角力を取つてゐる。弟熊が負けて泣くと、兄熊がやさしくいたはりながら……

その時一人の獵師が犬を伴れて彼等に近づいてゐた。犬はその鋭敏な鼻をびこつかせたので、獵師は彼等を見つけて鐵砲を撃つた。

それでも仔熊たちは幸せに、命からく逃げ歸ることが出来た。  
どうかしたのかい？

母熊は子供たちが顔色を變へて逃げ歸つたのを見て尋ねた。

始めて人間を見たんだ人間はながくて煙の出る物を持つてゐたよ

おお危なかつたね氣をおつけよそれが一番恐しい種ヶ島といふんだよ

人間は偉いね立つて歩くんだもの  
お母さんだつて立つて歩けるよ

母熊は自分で立つて歩いて見せ、兄弟仔熊に手を取つて歩き方を教へた。

雁と燕とが行き交ひ、夏も過ぎ秋もやがて過ぎた頃、兄弟仔熊は、

稽古のかひあつて

立ち歩く事が出来るやうになつた。彼等は木の葉を帽子とし、棒切れを鐵砲として獵師の眞似をして得意だつた。そんなことゝは知らない山のけものたちは、彼等の姿を見て肝をつぶした。

人間

彼等は我勝ちに逃げ走つたが、それが仔熊たちだとわかると、

なあーんだ

と言つて、又、元のやうに集まつて來た。嬉しさの餘り朗らかなになつた仔熊兄弟は、

僕達は人間になつたんだもの

と云つて、彼等に自慢して見せた。

人間人間

ほんとうの人間だ！ けもの達は隣く間にとび散つた。しかしまだ自惚れのとれない兄弟仔熊たちは、踏止つて獵師に應戦した。が、遂に堪らなくなつて逃げ出した。逃げるく、茂みの



樹や枝が邪魔になるのをかき分けながら、夢中になつて逃げて行く。その後から獵師も一生懸命に、やがて四つ這ひになつて木の下をくぐりながら追つかけて行く。やがて仔熊は横たはつてゐる大木にはたと行き當つた。獵師は愈々迫つて来る。

**兄さん這ふと通れるよ**

そこで兄弟はやつとくぐり抜けた。所が——馳けて来た拍子に板橋が折れて——目の下は深い谷だ。向ふ側へ渡ることが出来なくなつた。それでも人間恐さに夢中で跳ぶと、案外向ふ側へ渡れた。

**前足をおろすと跳びこせるよ**

必死の發見は四つ這ひになつて谷を跳び越すことだつた。それから又逃げた……そして、やつと獵師たちから遠ざかつた頃、



なんだお前は四つ這ひだね  
兄さんだつて四つ這ひだよ

兄弟は互に朗らかに笑つた。

考へて見るとやつぱり這つて歩く方が工合がいいよ

—終—

**近作の映畫**

御親闕	昭和七年十一月 大阪城東練兵場	全三卷	(六〇〇米)	二四〇・〇〇 <sup>円</sup>
蜜蜂 (養蜂篇)		全二卷	(五八五米)	二三四・〇〇
海の底の話		全一卷	(二三〇米)	九二・〇〇
隅田川		全二卷	(四七〇米)	一八八・〇〇



## 教育映畫評論

三〇

### 映畫問題とその國家的對策

昨年ロンドンで出版せられた *The Film in National Life* は、一九二九年十一月設立せられた「教育映畫及び文化映畫に關する委員會」に於て、映畫の製作、選擇、配給及び利用に關し國家的積極的立場より調査研究し、その結果に基き之が對策施設に就いて意見を述べた「報告書」であつて、該委員會の設立經過及び調査に對する政府及び國民の協力の大なるに鑑み、現在英國に於ける識者たちの映畫に對する待望のいかに大なるかを知るのであるが、最近我國に於ても漸くかゝる問題について言説をなすものゝ、現れ來りたる折柄、映畫及び教育に關係ある人士に極て示唆多き文献と考へ、その内容の概略を紹介することゝした。

原書は十章百五十七頁より成る相當廣翰なものであるが、茲にはその中第十章「映畫協會の構成及び報告の概要」なる一章を取扱ひ、報告の態度、内容等を述べて之が結論に導く迄の過程の概要を明らかにした。

この報告は、映畫協會 (Film Institute) といふ形式の常設中央機關が、國民の福祉に寄與する爲

に、各方面に於ける映畫利用を促進せんとする所の事業の性質及び範圍を示し、その種の機關の國家的に必要な所以を闡明したもので、必要に應じて種々映畫問題をも論じたものである。

國內の問題として、映畫の製作及び商業と、教養あり且つ興味を持つてゐる人々とを接觸せしめることは實際にはその途がない。而して管理といふ消極的な仕事は事務として適當であり、内務省に依つて巧妙に指導せられてゐるが、この新しき媒介物映畫を國家の發展に供すべく將來の爲に計畫し建設することは何人もなしてゐない事業である。

大英帝國全體についていつても亦國內同様である。映畫は領土を結合する爲の最も有力な手段たり得るものであつて、大英帝國に於ては未だその領土内に於て作られたる映畫材料を廣範圍に利用するに至らず、又領土に對して英國國民の生活及び國民を表示すべき何等の組織計畫もない。カナダはアメリカ合衆國と共に残されたる映畫の共通頒布地域であるが、大英帝國内の後れたる人種に對しては更に重要なる責任がある。拓務局の事業として先づ第一番に貿易に依り植民地に對する娛樂映畫の配給を組織化することが行はれ、最近には教育映畫に就いても亦爲された。然し乍ら之は單に問題の一端に過ぎず、本國に於ける當事者は、特殊の必要の爲に映畫を準備することを要求しつゝある。而してその利用及び映寫に關し助言を與へてゐるが、何等かの常設中央機關のなきことは



國家の將來に就ての重大なることを反映してゐる。

三二

外國に於ては之と全く反對にして、殆ど各國共、各自の必要に適應せる常設中央機關を有する。今之らの機關に就て蒐集したる調査材料に依れば、注目すべき形式があるのである。日本は外國映畫の青年に及ぼす影響を注意して防止し、歴史、傳説及び自國民の社會生活を取扱つた所の國家的映畫ライブラリーを設けてゐる。イタリアに於ては、獨裁者ムツソリーニはイタリアの偉大なること及び使命を説明する爲の映畫の製作及び公映に就て國務大臣の協力を求めてゐる。ドイツ共和國に於ては、外國映畫の上映に對しドイツ映畫の公映を要求し、且つ協會を設け、それに依り國內及び外國に於て製作されたる優良なる映畫を選択して國民の趣味を向上せんとしてゐる。フランスに於ては、藝術省内に常設委員を任命し、國民的趣味全體に關心を持つと共に特に民族の習慣及び傳説の保存に顧慮してゐる。アメリカに於てはエール大學に於てアメリカの歴史上重大なる出來事を映畫化し、ハーヴァード大學映畫はアメリカ研究の主なる人物及びその仕事を記録した。之ら各國に於ては國民精神に新しき勢力を國家的に賦與することを要求してゐる。

之らの國々に於ける協會は夫々權限及び任務を異にしてゐるが、然も共通の一事がある、それは協會は檢閲と關係を有しないことである。各國は各映畫の公映を管理するに適當な方法がなければ

ならない。それは一定の消極的機能を有する必要なる社會的機關の一つである。そして大英帝國はその獨得の方法に依つて機關を速成的に作つた。他國が實行せるにも拘らず大英帝國が實行せざりし最も重大なる事柄は、不良映畫を阻止するよりも優良映畫を奨励し、映畫の全野に建設的批判的勢力を普及する積極的作用である。ドイツに於ける中央協會、イタリアのルーチェ協會の如き協會は、檢閲と反對行動を採ることなく、寧ろ檢閲の仕事を補佐してゐる。而して各異つた條件の下に發せられる最も代表的な機能は娛樂映畫、藝術映畫、若しくは教育映畫、科學映畫の何れたるを問はず、特に價値ある映畫に採用許可印を押捺するにある。

我々は我々以前の之らの事實について顧慮しても、常設中央機關が國家的に必要な結論に到達せざるを得ない。この機關は問題について廣汎なる視野を持ち、種々の方面に於ける特殊なる知識を持つ人々及び善惡共に映畫の可能性を實現する人々等の支持に依つて具體的な勢力を持つに至るであらう。而して我々は自らの事業の經驗上、我々の確信を強くするのである。實際、我が委員會は各方面に於ける部局機關、政府各省、地方教育當局及び他の教育團體及び映畫製作者等より早くも歓迎を受けた。

我々は宛も上潮に運ばれつゝあるが如き感を強くする。特に、我々は營業に關係ある各部門より

三三



多大なる歓迎を受けた。而して我々は各教育及び學術團體がこの新規なる媒介物の發展について探りつゝある關心を映畫製作者も亦歓迎することを確信し、彼らの助言を切望する。之は最も大切に於て又最も愉快なる占ひである。何となれば營業者の援助なくしては我々のなし得るいかなる推薦も結局學術的興味以外の何者でもなくなつてしまふからである。

映畫は國民的精神及び世界的生命を有するものにして、映畫觀衆は文學よりも想像以上に國際的のものである。我々は國際的には他國より自由に輸入せる最良の作品を見んことを欲し、國內的には英人が我々自身の文化に於ける生活を知ること欲する。映畫協會は代表的にして且つ特異な國家機關でなければならぬ。然し乍ら、國內にて外國の競争を管理するが如き狭き一律的なナショナルリズムにては意味がない。ラヂオは寫真と同様國と國との障壁を打破する爲に多くをなしたが、映畫は更にそれ以上の多くを爲すことの出来るものである。然し乍ら、自覺的なるインターナショナルリズムはそれ自身の目的を破壊するであらう。即ち國際的である様に設計された映畫は藝術又は良き娛樂たることは稀れである。否定的にして效果乏しきものゝ本質は複雑である。國際的聲價を有する映畫はその國民の才能を完全に發揮する。例へば「ル・ミリオン」(百萬)以上に晴やかなフランス的な作品を想像することは困難である。我々は大英國に於ける映畫工業が勢力を持ち、英國

民の傳承から國民性及靈感を誘導して英國民の性格及び思想を明瞭に表明し、名譽ある國際的聲價を明白に表現すべき映畫の製作せらるゝ時日の來らんことを信じ、期待する。

國家的映畫協會は知識ある人々の教育を補助することも得べく、知識あり且つ批判ある大衆は英國映畫の建設的製作を歓迎獎勵するであらう。而してその批判は精細を極めたるクオタ法よりも一層健全なる發達を刺戟するであらう。

映畫の將來は實に複雑なる問題にして、國民が規定するその解決策は總ての要素を含まねばならない。我々は教育家商業者及び一般大衆の尊敬及び信任を得ることの出来る十分強力なる機關の設立せられんことを希望する。大衆的映畫の供する娛樂は觀衆を無視して檢閲及び許可規則の如き消極的權力のみを以て考慮さるべきものではない。映畫は教育上建設的威力又は破壊的威力の何れにもなり得るものにして、映畫劇場に依つて成人教育クラス、研究團體は益々文化的勢力を得るであらう。教室用映畫を製作するには教師及び製作者の協力を必要とする。然し乍らそれが映畫の本流より離れて發展するならばそのものは最早動く幻燈に等しくなるであらう。それ故に大衆向の娛樂映畫と教室用映畫とは共に顧慮しなければならない。教室用映畫が學校に於て文化的勢力を持たんとする場合には熟練せる製作者の映畫藝術が必要である。映畫及びその用途を理解せる教師のやう



に同情ある指導者は、將來の觀衆をして高級作品を觀賞せしむるやう觀衆を馴致することが出来るであらう。國家機關は之ら相互の利益の爲に二つの興味を結合することが出来る。而して該機關は實際の組合なることを要するが、然し映畫技術即ち映畫製作を思ふがまゝになさんとしたり、又は學校を陳腐な映畫のダンピング市場ならしめざるやう心掛くべきである。映畫産業の發達に關係あるすべての主腦者が輕率なる否認をなすことは惡結果を生ずる恐れがある。製作品又は大衆の趣味の國家的取締を餘り窮窮にすることは概して一層惡き結果を生ずるからである。

そこで上記の一般的理想の骨組を以て結論を概括することゝしよう。

映畫協會の外形が作らるゝ方法及びその仕事の範圍。映畫は善惡共に國民生活上有力なる勢力となつてゐるが、之を最も廣き意味に於て建設的に利用することを得るであらう。映畫の建設的利用は一國に於ける最高知識階級者が最早超然としてゐることの出来ない國家的事業の一つである。映畫は、當然利用せらるべき人々から冷眼視せられたが、現在では興望を得つゝある。

映畫は各文明國が建設的に取扱はんとする國際的問題であつて、約二千萬の人間が日々映畫事業に従事し、投下資本は約十億磅に達してゐる。ローマ教育映畫國際協會は、國際聯盟に依つて主宰せられ、各國に於ける映畫協會は、各自國の爲に爲さんとする部分的責任を統括して世界の爲にな

さんことを企てた。又、國際聯盟は教育映畫の自由貿易に關する規約を起草した。各國政府は大多數、該草案を根本議題として受理し、原則的に使用者及び製作者の利益の爲に之を採用せんことを希望した。

この種の規約の採用は、新しい一つの標準に依つて映畫を批判せんとする特殊の團體の設立を意味するものにして、その標準とは切符賣上高や風俗壞亂への効果等に依るのではなくて、學術及び教育の補助となり文化の媒介物となる積極的價値に依るのである。映畫の國際的流通の爲めかゝる團體に與へらるゝ認可は、大英國に於て映畫を公映する爲の證明の基礎たり得るものにして、U (編者註—一般向映畫の意味) 又はA (編者註—成人向映畫) の何れでもなく、より廣義の教育的價値を有する映畫に附與せらるゝものである。

委員會は一時的の必要を充し得るが、然しそれ以上はなし得ないものである。常設映畫協會は政府に代つて政府の保證する內國的又は國際的の證明行爲を引受け、それに依つて他の方面にその有用性を擴大する所の權利を收得するであらう。委員會は映畫に對し力を以て拘束するに非ずして建設的に之を奨励するやう注意する。而して檢閲は最善の場合にても消極的威力を有するに過ぎないのである。あり觸れた俗惡なものは餘り害悪はないかも知れないが、然しそれは一般的公映にパス



してゐる俗悪映畫の一派で、感傷的な、感情を偽つた危険なもので、ありさうもない人間を取扱つてゐる。我々は必ずしも「しかつめらしきもの」でなくともファースカメロドラマ、事實か小説の如き良きもので、現實にあり得べき人間を取扱つた映畫の製作とかくの如き映畫劇を製作せんとする輿論をも興さんことに、國家的に建設的努力をなさんと欲する。然るにかくの如き仕事をなす中心機關なき爲め、熱心なる人々は檢閲の立場に立つて、改善の積極的な仕事の中へ制限的な力を作り、二重の重荷を齎らさうと試みる。然し我々はそれは誤謬であり、我々は英國映畫檢閲局の事業に對しては最も公平な讃辭を呈した所が要するにそれは檢閲を適當に制限することであると信じてゐる。映畫協會は決して檢閲に取つて代つたり反對したりするものでなく、兩機關は補佐し合うべきものである。我々は今日の映畫の長所を實現するにはその缺點を豫め改善するにあることを強調する、たゞ頑迷なる僻見は映畫の長所の一層大なる實現を妨げる。映畫見物は家族的關係を有するものなるが故に子供を分離することは欲しない、兩親及び子供らは映畫を楽しみ且つ批評することに於て互に學ぶべき多くの事柄を有してゐる。學校に於ける映畫の實驗、常識及びより廣汎なる利用は賢明にして且つ健全なる映畫の、眞實の基礎である。

映畫製作の經費について、或る人々は金錢が腦髓に代ることが出来ると思ひ、又途法もない廣告

や法外な給料を以て成功することが出来ると信じた。然し乍ら斯る濫費をいかに許すとしても、それは結局、活動寫眞を失費多く且つ複雑な仕事とするものである。若し教育及び教化的關心を以て英國文化を代表する世界的價值ある映畫を製作する英國映畫製作所の建設を助けんとするならば、須らく映畫産業に就いて知り、その知識が齎す所のものを尊敬せねばならない。相互的に疑惑することは止めて相互的に協同せねばならない。例へば映畫を學校の爲に役立てんとするならば、近代技術の最高知識を利用せねばならないが、それについて教師は映畫製作に關する商業に忠告する前に先づ自己の欲する所のものを知る必要がある。かくするについては、彼らは技術的過程について或る程度の知識が必要である。

相當高級な製作上の傳統を持つてゐるハリウッドを侮蔑することは無益である。「英國映畫を見せよ」といふだけでは十分でない、我々はそれに附け加ふるに、「良きものにしていかなる社會に於けるマーケットをも支配出来るやうな英國映畫を製作せよ」と云はねばならない。委員會がかゝる要求の組織化を代表するのは、この點についてである。

委員會は只單に局部的には學問的出版のみならず、我々の未だ知らざる教化的勢力を有する映畫の將來に關係してゐるのである。映畫は我々の役に立つ新しい媒介機關であるが、然し乍ら又容易



に役に立たぬものともなる。児童について学校の必要なるといふことさへ必ずしも教室のみが必要といふのではない、出来るならもつと簡単にされるかも知れないのである。映畫を見るやうになると、児童はスクリーンから要點と印象とを非常に敏くつかむことを學んでゐる。いかに不斷に、いかに敏活であるか、我々には分らない程である。そこで彼らの映畫に對する趣味を訓練することは音楽に於けると同様に極めて大切なことで、社會的見地からして殊に大切である。若し民衆の趣味の標準を向上しやうとするなら、我々は先づ児童から始めねばならない。この點に於て學校映畫の問題は再び一般映畫と關係がある。

教育映畫 (Educational film) と云ふ言葉は、嚴密なる意味に於ては、教授用映畫 (Teaching film) といふ意味に用ゐられる。即ち教室に於ける映畫は教師の補助手段となるが、一般的には學校のホールで映寫される教育的なものか又は有益な映畫である。現在に於ては、この方面の販路は有望ではあるが、不正確な需要であるが爲に、特に學校向に製作さるゝ映畫の製作を妨げてゐる。製作者は恐らくもつと多くの學校が映寫機を所有する迄は、映畫を製作しないであらう。又、學校は利用することの出来る映畫がもつと多く製作さるゝ迄は映寫機を設備しないであらう。我々は、英國産業聯合の映畫部の保證を繰返し述べたのである。「若し需要を組織化することが出来るなら、我々は

映畫を供給しやう、そうすれば何が要求せらるゝかを知つてゐる有力なる團體は、映畫部の支持を當てにすることが出来るであらう。

映畫協會は二つの重要な機能を持つであらう。第一教師の専門家團體を通じ學校映畫の製作に關し、營業者に忠言を送る。我々は試験的製作の或る方面を假に暗示した。第二は映畫、映寫機及び技術等、今日教師が個人としてはそれに關する知識報道を得るに困難な事物についてそのインフォメーションの中央交換所として活動するであらう。

映画は年齢と性との差別なく集團的に享樂せられるものである。幾千の家庭に對し、毎週映畫見物は家族的一事件となり、子供らは親と共に行き共に楽しむ。代表的觀客とはいはゆる知識階級でもなければ又卑猥なものでも無智なものでもない。それはその印象を分析しないといふ意味に於て無批判的であるかも知れないが、然し乍ら、封切第一夜の向棧敷の客のように好きなものを知つてゐる。我々がこゝに主として云はんとする所も亦その娛樂である。必要なものは兒童の爲の特殊なるマチネーでもなければ、準教育的映畫の特別興行でもなく、たゞ家族伴れに適した常設的民衆娛樂機關である。

一方には教養あり批判力ある民衆あり、之らの人々に對して映畫は深い關係を持つてゐる。それ



は數に於ては重要ではないかも知れないが、之ら教育ある映畫観客は、教育あり、經驗あり、且つ建設的なる批判に依つて、映畫に大いなる貢獻をする。即ちその觀覽と感興とは映畫に名聲を附與する、而して映畫の將來は或る程度迄これらの人々の興味を維持し得べきや否やに係つてゐる。彼らは良き成人向プログラムに依つて現代映畫を觀覽し、古き秀れたる映畫に接せんことを欲する。かくの如き要求が組織化され、成立するならば、この種の成人向プログラムを興行する映畫劇場のチエーンが發達するであらう。

映畫協會は全國に亘り知識ある成人の思想を集中し、區々に離れてゐる人心を結合し、映畫を愛好する學生と教育ある成人勞働者とを接觸せしめ、俱樂部、大學、その他の團體等に於て、映畫團體を形成し右のやうな映畫劇場を構成する爲に分散したる諸團體の人々を關係づける。

成人教育運動の指導者たちは、日々の過激な勞働の後に、知識又は娛樂、或は双方を求めつゝある男女の爲に、その手段となるものとして、映畫以上の有力な機械的方法は何處にも存在しないといふことを認めた。然し乍らこの方面は從來映畫事業として營利的には殆ど勘定に入れられなかつた。然し乍ら教育局より認許されたる學生の中核が少くも六萬人あり、これを周つて、正規の學生には非るも組織的な精神運動及甦生に参加する數萬の民衆がある。

これらは生活及び學問についての最も熱心なる學生のグループであつて、若し社會教育映畫を廉價に得る問題が解決するならば、これらの人々の中から映畫團體や劇場會員を募ることが出来る。

協會は一般に助言を與へ、又合理的な費用で、直接的には中央ライブラリーを通じ、間接的には營業者を通じて映畫を配給する。

この計畫の他の目的として、又、特殊なる必要に副ふ爲に製作さるべき教育映畫に對する主張的要求がある。即ち工業學校に於ける科學的過程の説明、徒弟訓練の個々の過程及び職業選擇についての青少年指導の説明、遺傳、經濟學又は社會問題を述べ、輔導學級に於て行はるゝ評釋及論議を刺戟する目的を持つてゐる映畫及び學科課程の説明的材料を供する映畫である。而してこの必要を正確に主張し、かくの如き販路の存在することを信用せしめ、製作を協同し、配給を容易にするこゝとが、映畫協會の急務である。

映畫は新しき一種の記録研究用書類にして再び起らざる大いなる歴史的出來事を記録し保存することが出来る。又、科學者の控帳たり得る永久的記録として利用せられ、講義用テキストとして學生及一般に對して使用せられる。映畫協會は多様の機能あるライブラリーを維持する。而して經濟的及び技術的に容さるゝ範圍内に於て、出来る得る限り、記録として價值あるあらゆる英國映畫の



コピーを記録の爲に保存する。そして従来、普通の營業者を通しては入手出来なかつた映畫を配給する、その爲には社會教育及び教育關係の現代映畫目錄を製作し、協會自身は記録映畫の製作を奨勵する。

植民地は本國の學校に價值ある材料を供給することが出来るが、これに對して本國よりは本國文化を代表する價值ある映畫を植民地に送るべきである。若しかゝる事柄が今迄に餘りなされなかつたとするならば、それは植民地に於けるよりは寧ろ組織の缺如せる大英帝國に於てである。植民地は、國內に對しても國外に對しても、映畫の建設的國家的利用の機關を持つてゐる。例へばカナダ聯邦政府映畫局の如きで、映畫は相互理解の最も有力な手段である。

帝國版圖内に於ける文化程度の低き民族に映畫を供給することは必要であるが、然し非常に困難な事である。その種民族は歐洲人よりもより多く映畫から得る所があるが、害悪を受くる程度も亦一層甚しい。彼らが低級なメロドラマから受けてゐる所の白哲文明の概念なるものは實に國際的な脅威である。我々は國民にいかなる種類の映畫が積極的に有益なるやを發見し、その映畫を製作し度いと思ふ。拓務局との實際協議が、試験的にマラヤ (Malaya) にて計畫されつゝある。

植民大臣は、報道及び助言を得る源泉として委員會を任命し、植民地政府の關心を刺戟した。

映畫協會は、右のやうな民族に適當な映畫に關する助言、報道、及び證明につき國家的中心となるべく、尙又内外の事件に廣く關係することに依りて眼界を廣め特權を得るであらう。而してマーケット・ボード (Empire Marketing Board) の如き團體及び新しき配給營業機關はその構成條件に依りかくの如き廣汎な機能を持たないことに定められる。

我々は、その述ぶる所の意見を獨創とは決して云はない。新しき一つの媒介物についての開發的事業は既に他の人々の手に依つてなされたのである。たゞ我々は今日更に廣く思考せんとしつゝあり、一時代の哲學なるものは機械的諸發明の裡に育てられ、娛樂と利益との爲に十分それらの發明を利用することに決するといふのである。初期に於ける諮問委員會は立派な仕事をなしたに拘らず、それらの報告に隨つて實際の仕事は、よしなされてゐるにしても餘りに乏しい。それは彼らが國家的に公式の支持を受けず、多くの場合に一つの大きな問題のたゞ一部分として取扱はれてきたからである。委員會が始つた時の會議に於ては、各中央官廳、大學、研究團體、大いなる教育諸機關、同業組合、社會事業協會及び地方教育當局の代表者と英國産業聯合映畫部公式代表者と共に、一般的な映畫政策に就いて協議した。せらるべきことが尙残つてゐるが、委員會は既に英國成人教育協會、婦人國民會議、英國協會及び教師組合等の團體の映畫事業に對して指導的協同機關となり、より小



さい努力から力を吸収し獲得した。然し乍ら委員會は現在の形式では恒久的ではあり得ない。即ち或る一定の問題に對し資力を持ち關心を有する人々の任意的な團體である。この團體の事業と組織とを、若し我々が茲に實現せんと欲する公的機關に解消せしめ得ることが、十分價值ある先驅的事業であるならば、その機關の建設は是認せられるであらう。

(附言) 本文中、我國に於ける教育映畫に觸れてゐるところがあるが、右は、この調査が國際教育映畫評論を材料としてゐる點から考へて、多分、同誌一九三一年一月號所載大毎活映部長水野新幸「日本に於ける映畫教育」及び同年七月號所載文部省社會教育官中田俊造「日本に於ける教育映畫」に據つたものであらうと考へられる。

### 第三回教育映畫國際會議の概要

本稿は一九三一年五月廿六日より卅一日までウイン市に於て開催せられたる第三回教育映畫國際會議の概要として W. Gunter の "The third International Conference of Educational Cinematography at Vienna" (Oct. 1931—L. R. E. C.) に據つたものである。而して會議が取扱つた問題は發聲映畫、小型映畫、教育教材映畫等に關する技術及び利用等各種の側面にして、之を以つて最近世界に於ける教育映畫問題の動向をうかがうに足る。會議は本文の中に示せるやうに九つの委員會を統括してゐるが、尙參考の爲に豫め次に摘記する。—(第一)教育映畫の教育學的並に心理學的考察、(第二)研究用並に教授用學術映畫、(第三)小型映畫、(第四)映畫技術、(第五)映畫檢閲、(第六)教員の教習、(第七)成人教育映畫、(第八)幻燈、(第九)有音映畫、映畫聯盟、小型映畫の型式その他。

教育映畫國際會議の第一回及び第二回は、一九二七年パールに、又一九二八年ヘーグに催されたこれらの會議は國際的な私的團體を作る一つの試みであつて、その基礎はパールに於て作られ、その形式はヘーグに於て與へられた。同時にその外側に更にローマの國際教育映畫協會が創設せられたのである。その後資金難のため、第三回教育映畫國際會議は數々開催を延期せられたが、遂に今回オーストリアの文部大臣その他より會議開催費を提供せられ、ウインに開催さるゝことゝなつた



のである。

スライドの討議はこの會議では今回が始めてである。元來スライドと云ふものは、學校に於てはフィルムと離るべからざるものであるに拘らず、今日迄その議が上されなかつたことは寧ろ不思議と云ふべきであらう。殊にウインに於てはこの方面の廣汎なる經驗が積まれてゐるのであるから、スライド討議の場所としてはこれ以上適當な所はないであらう。

將來に於てなされるべき仕事、特にサウンドフィルムと學校との關係及び小型映畫に關する國際的要求の本質等焦眉の問題に對してはその特別委員會が重要である。

現在迄に種々の映畫週間及び教育映畫講習會が主としてサウンドフィルムの一般的觀察に注意を拂つて來た。例へば一九二三年には第四回ベルリン映畫週間會議が、トライエルゲン撮影所を訪問しその結論は之を得なかつたが、その關心を示したのである。又同じやうなことが一九二九年にはドレスデンであつた。而して學校の立場からサウンド・フィルムが考慮せられ、將來に關する決議のなされたのは、第十回聯合映畫日 (Bild spiel-bundestag) 以後のことである。この關係に於て第三回國際教育映畫會議及び第二回映畫週間 (一九三一年十月) は同じ目的に従つた。

サウンド・フィルム委員會は、ドイツ映畫聯盟主催の第二回映畫週間にこの問題を協議する準備

をなすものであるが、又ウインの學校教師たちの同様な一つの委員會に支配されることになつてゐたウイン會議の方針を研究する責任がある。これらの團體はひきつゞいて同様な仕事をなし、種々の指導原理を提議した。それは既に會議以前に採用せられたもので、これらの問題に興味を持つ人々の經驗を基礎として決議に先だち委員會の協議に於て、擴充するが爲である。

これに關聯して、學校が最初サイレント・フィルムの出現した時に無知の結果それが粗野なりとして排斥しやがて發達した時に驚いたやうに、そんな過は今度はサウンド・フィルムには繰返すまいとする一つの企がなされた。即ちサウンド・フィルムに興味をもつてゐる人々はやがて熟慮して彼等の相互的要求について協議し、そのことを遲滞なく工業家と意見を交換すべきで、一定のサウンド・フィルム、その組織等を決定し、興行を學校に於て爲すか又は劇場に於てなすか等の問題を考慮しておくことは根本的な事柄である。又學校音畫及びその整然たる利用の指導について何等かの原則が採用せらるべきである。

同じ仕事は小型映畫に就いても亦なされねばならない。フランスでは多く一七ミリ半フィルムを使用し、オーストリーでは多く九ミリ半フィルムを使用してゐるが、他の國では主として一六ミリが使用せられてゐる等、各國區々として定まらざる現狀である。



それらの指導原理は六月から九月迄の間の會議及び第二回獨逸映畫週間の討議の基礎的材料として用ゐらるゝやう計畫せられた。この獨逸映畫週間に對しては映畫の教育的發達及獨逸映畫事業の傾向に關し、決定的なそして或意味に於ては最終的な討議が計畫せられた。それ等の計畫が遠大なものであることは、それらの計畫が實際に行ひ又は支持することが出来ないやうな問題の單なる決議ではなかつたことで分るであらう。

ウインのプリンシプルに關しては、この指導原理を判定する爲に數ヶ年間研究し之を利用し具體化せんとした團體の少くも三ヶ國からの三個の代表者が來たことは重要なことである。それらの原理應用の效力は各國にて直ちに試みられ、少くとも獨逸に於ては一種の修正が施されるであらう。

教育映畫國際協會と國際教育映畫會議所との間の將來の協同に關する協約は細目は勿論之を除去し、一般的事業計畫のみを作つてその各項目を修正された。會議は次の決議を通過させた。即ち、「事業委員會はローマとバールとの協同を直ちに繼續することを決議す。教育映畫國際協會の主體部は、協會の監督に依り、其の事業の實施及び個々の條件に就いての活動を展開させることに對して責任を有す」。

このプランは二つの協會が相互に援助し互に事業上の重複を避けるといふ意味である。協同の細目は今夏ベルリンにて論究せらるゝであらう。勿論多くの參加者がこの發展を歓迎するであらうがその成功は主として總裁デイ・フェオ博士に負ふものである。彼の委員會に對する協約及び公開式講演は、教育問題に於ける協同についての彼の理想と同様、大いに喝采を博した。

五月二十八日に、普通映畫、小型映畫及スライドを以て二十四の研究授業が行はれ、何れも大成功を収めた。これについて或時、もつと少くも十分であるのに、何故そのやうに多くの映寫がなされたかと質問せられたことがあるが、かゝる質問は、この種の映寫が教師に非常に重要であることを思ふ時に寧ろ理解に苦しむのである。何となれば、それ等の映寫は他のすべての仕事の効力に對し又フィルムの難事業が價值ありや否やの試金石であるからである。この關係に於て證明して置く必要のあることは、平素スライドやフィルムの映寫を見てゐる兒童は特に現實への感覺及び形に對する感覺に影響を興へられてゐるといふこと及びフィルムやスライドを教授に使ひ慣れてゐる教師は生徒の學習を一層活潑にさせることが出来るといふことである。大作映畫を見せたり同一教科を完全の點に迄訓練するといふことはそう大した問題ではなくて、むしろ映畫を教便具として日常使用の可能性あるを示すことがもつと大切である。ウインは學校で行はるゝ模範的な仕事の一つの評



判となる所であるから、これ等のデモンストレーションが特に成功し且つ喝采を受けることが期待されると思はれた。更にこの會議は教便具としてのフィルムの使用について曾てこの種の會合の爲し得なかつた大いなる貢獻をなした。即ち熱心にその問題の各方面が取り上げられ、一つのグループに依つて論ぜられた。即ちこの會議がこの問題について始終理解ある洞察力をもつた最も良い証據である。

又他の諸委員會の會合及全會議には、一般的意味に於て重要な他の方面があつた。即ち科學者の活動寫眞に對してなした貢獻の如きである。そこで大學の講義に、顯微鏡と同様なくてはならぬものになる運命を持つたフィルムを出来るだけ數々利用すべしといふことや、調査の方法としてのフィルムに對し科學者の注意が與へらるべしとさへ要求された。これ等の可能性は二つ共それに對する純然たる學問的價值があるに拘らず、少くとも現在までは、その利用が非常に少いのである。

小型映畫は非常に利用し易い機械であつて、これについて議論が大に行はれ、その撮影及映寫の技術的可能性と寫眞術的及方法論的側面との二つが各支持者を持つてゐる諸種のグループに依つて説明せられた。

第三のグループは、小型映畫に注意を與へたもので、そこには小型映畫の打越ゆべき多くの困難及び考究すべき多くの事柄があつた。即ち先づ第一に絶對反對の強硬なるグループがあつた。それ等反對者の或るものはその寫眞術的制限の故を以て、又或るものは十分なる耐久力及彈性に乏しい故を以て、又或るものは失望的であり、不經濟であり寫眞及映寫が杜撰を獎勵する等の故を以て反對した。

或る國々では、たとへそれが教授の爲であらうが、クラブの娛樂の爲であらうが、長い映畫であらうと短いものであらうと寄せつけない。

又或るグループでは全然排斥はせず、このフィルムに有利なる聲明さへもしたが、然し乍ら映寫装置、寫眞術等の尙一般に不完全なことを批判し、工業に依つてより良き材料を製作せらるゝ迄待つことを提議した。

次のグループは前記二つの發表に全然同意したが、然し乍ら單なる消極的態度でなくて實際的提案をなすことを要求した。

或るものはフィルム及機械の高價なることに反對し、そして標準映畫に有利なる爲にはあるが高價なるものをボイコットすることを要求した。又他のグループは小型映畫に賛同するが、種類が



多いことに反対し、何か一つの標準を要求した。

所が出席者の中の或ものは型式の種々あるは各々その利益及可能性があるが爲であると考へたのである。即ち小さなセンターには九ミリ半、他のものは十六ミリ、十七ミリ半はそれらのものをなくすることの首肯出来ない人々のみに對してである。

この急場に臨んで小型映畫の唯一の形式が決定する迄はウインを去らないといふ嚴かな誓ひがあつた。そして、九ミリ半は小さ過ぎ、その故に顧みるに足らぬと考へられ、十七ミリ半は永續する價値がないであらうと考へられた。そこで只十六ミリのみが残つた。

そこで多數のものが進んで決議を作製しやうといふ意見であつたので、一つの動議が採擇された。「小型映畫は既にフィルム技術の一方面となつた、そして我々はこれを映畫の將來の發達の爲に廢棄せねばならぬことは惜しいと思ふ。

一般的採用についての主なる難點は型式が幾種もあることである（例へば九ミリ半、十六ミリ、十七ミリ半の如し）。

それ故に會議は標準型を一つ躊躇することなく採用すること及びその選擇は技術、方法及び學校衛生上よりの要求に對して最も適當なる大きさに於て型を定められねばならないと思惟する。

小型映畫の急速なる進歩、製作者、アマチュアの困難に鑑み、會議は教育映畫國際會議所總裁に千九百三十二年復活祭迄に標準小型映畫の採擇に關しフィルム製作者と協商を完成するやう委任する。

その間に映畫工場はその意見を求められた。而してかく小型映畫の種別を除去することを望むには理由がある。即ち財政上及びその他の國難に直面して合理化をしなければならぬ時代にあつて、三つも五つもの小型映畫が、各異れる映寫システム、そのリール、ローラー等あるを容認し得べしとは信じ難いからである。

映畫技術問題 (Technical Film problem) のグループは小型映畫の技術に特に注意を拂つた。そして會議に對しても亦次の希望を述べた。

(1) 教材映畫 (Instructional film) は若し有効に利用せんとするならば客觀的に正確であり、教育的に非の打ち所がなく且つ技術的に完全でなければならぬが、そうしたフィルムは只専門家と教師と技術家との協力に依つてのみ製作される。即ち専門家は客觀的妥當性に對する責任を有ち、教師は學校の様式及び要求に對する處理及び適應に關して責任を有ち、その間にあつて技術家は客觀的材料と完全なる寫眞に對する教育的要求とを合致させるものである。



(二) 第三回教育映畫國際會議(ウイン)は教育的に價值ある映畫創造への途は次の二つが有望であると信ずる。

(イ) 營業者が教育映畫(Educational film)を製作する場合は、技術者と科學的及教育的専門家は客觀的妥當、方法的構造及技術的内容の結合を成就する爲に協同せねばならない。

(ロ) 將來に於ては、技術家は特に困難なる原作をなすに十分な特殊なる科學知識をもつことが特に望ましいことと考へられる。

第三回教育映畫國際會議は、速かに、教育的な又嚴密な原則に基いて選擇された教育映畫の國際目錄を編纂することを要望する。

右の爲に、委員會は映畫の審査及評價の爲の實行性ある基礎的價值を發見し、主たる調査者の經驗をして他のものゝ手に入れ易きものたらしめんと試みつゝある。この主委員會の外に一定公式を發見することをその任務とする小委員會がある。

「第三回教育映畫國際會議は教育映畫の國際的交換に關する組織を出来るだけ早く進行せしめるやう教育映畫國際會議所の指揮を要求する」。

このグループが多くの調査をなした時、かゝる要求の公式化は、何らの經驗的背景もない、力の

足りない、アマチュア及び初心者がサゼッションを與へるならば自然的に一層意味深長となる。

映畫檢閲のグループは、ドイツ文部省社會教育局長ウィットに依つてすべての参加者に送られた明白な廻章があつたに拘らず、最初誤つて活動した。

たとへこの文書は無檢閲的態度を強調したとしても、それらの問題を扱ふことを假定したのである。而してその商議は博く教育映畫の各方面を代表する男女に依つて進められたが、困難に陥つた。教育映畫の審査はドイツに存在するのみであつて、チェッコスロバキアの如きはこれを取入れるであらうが、他の國々は自由の制限なりとしてそれを排斥してゐる。

多くの場合に、かゝる審査の基礎的假定である所の映畫の國內的製作が存してゐない。又、他の特に大いなる困難は同一映畫についての定義の多種多様なることである。何人が、文化映畫(cultural film)とは何であるかといふことが出来るか。その言葉に代ふるに教育映畫(Educational film)といふ言葉を以てすることを決めて、會議は一つの妥協をしたのである。何となればこの言葉は何も定つたものを表してはゐないからである。我々は先づこの屬の語の中に或る内容を盛ることを申合さねばならない。

技術的訓練の問題に對する委員會は、遺憾にも分裂して相對峙した。即ちそれらのものは或もの



は後の利用に不確實を伴ふセミナリイ式訓練、中央學校映畫會に於ける集合的映寫に代らしめて教室教授の排斥、訓練の排斥、各人の自由、分化した訓練といふのであつて、かくの如く廣汎に區々に岐れた意見の間にあつて何かの一致を見出すことは不可能のやうに思はれた。それ故に委員會は滿場一致を以て最も多くの國々に於ける將來の發達への途を導くであらうことを望む次の表示の約束を採擇した。

「委員會は原則的に教室教授が主張さるべしと考へる。これは映畫及映寫について特に教師を訓練することを意味する。

「そのやうな訓練は、例外なしに公に認められたる特殊なる技術的及び科學的科目から作され、最後に特別な試験をして終るべきである。

「その試験證明書は映寫技士に對する他の資格證明書と同價值にして、十分に權威を認めらるべきである。

「その證明書の效力を學校と成人教育、兒童福祉、及び非營利的映畫活動に限定する事は望ましい。

「課程の形式及び存續期間は警察、火災及び建築制限並に訓練の技術的又は組織的目的にも従はねばならない。技術的能力は最高位を目標としなければならない。小型映畫、サウンド映畫、色彩映

畫等、フィルムの技術的發達に従つて技術上の資格の控除又は増加の如き特殊なる訓練上の制限をしなければならない。

「E. N. 及教育委員會事務總長はこの新しき部門の形成に對し有用な教程及報告を蒐集しつゝある。

「かくの如き特殊なる訓練を、將來は、教師たるべき學生（大學、高等諸學校、工藝學校、學會等）の一般的準備の中に取り入るゝ企圖があるであらう。そして或る國々はこの實驗をなし、その結果を次の會議に報告するやう求めらるべきである」。

第七のグループ、成人教育は次の決議をなした。

「成人教育グループは映畫が技術的に非難がなく、主題が價值あるものである限り、そして又映畫を成人教育の中に含んで思想の自由を制限することなく寧ろ一方に於て獎勵するならば、技術的形式として優秀な手段であると考へる。」

委員會は次の議案を缺くべからざるものと認む。

(イ) 國家的及地方的索引のある國際映畫目錄の編成。

(ロ) 成人教育に於ける映畫従事者の間に於けるニュースの定期的交換。



(ハ) 營利的並非營利的側面に於ける教育映畫の國家的獎勵の増加。

この決議は前方への大いなるステップを示すものであつて、自由なる普通教育がフィルム、スライドを認めねばならぬことが未だ一般的に認められないが爲に、そのステップは流れを押渡つてゐる経験家の手に依つて公式化せられた。

スライド・グループは初めてのものであつた。リヒトビルド、といふのは寫眞を意味するのではなくて、固定した繪の映寫のあらゆる種類の技術である。

このグループは繪とフィルムとの關係に生ずる必要な機關であつて、その構成が特にウインの如きこの種の事業が方法取扱及び主題について熟練され而して比較され得ないと云はれ得る迄に完成した市に於てなされたことは眞に適切であつた。

我々はウインを去るに臨み、そこで成されたものに對して卒直に稱讚し、今も我々がどうしてオーストリーの首府を採り上げることが出来たかを考へつゝある。

そのグループは決議した。

教育、感化及國際親善の知識普及の手段としての寫眞スライドの壓倒的重要性に鑑み、委員會は國際的争闘を好轉せしむる問題に關するすべての問題を國際映畫會議所及本會議の科目の中に含ま

しむべしと考ふ。

委員會は次の題目の取扱を特に一層必要と考へる。

教育技術の組織的實驗の國際的交換、特に普通教育に於て達成せられたる結果。ピクチュアアールとピクチュアセンタアとの間に行はるるフィルム、スライドの材料の報知及交換、右の如き交換の促進に對する法令の發布(例へば自由輸入)。

旅行者に對する撮影及撮影材料研究に關する相互的援助。

國際的決定を要するが如き問題の共同的取扱(例——標準化)

國際的意義を持つてゐる場合、材料及その取扱に關聯してフィルムとスライドとの間に存するが如き顯著なる自然發生的な問題の討議。

「委員會は各地の學生及び教師に、この問題に關し、圖書の後で練習及寫眞に對する十分なる機會が與へらるべきことが最も主要であることを希望的に考へる。

更にサウンド・フィルム、小型映畫の如き現下の問題、その他の緊急問題の爲に一つの特別委員會が構成された。この委員會は第一日から經驗及實驗を組立て一般的に利用することの出来るプログラムを作ることに努力した。この仕事は次の決議を以て結論とする。



第三回教育映畫國際會議は將來に於ても亦サイレント映畫が教育 (Instruction) 手段として最も適當であると考へる。

委員會はサウンド、フィルムが社會に對し現實を再現する可能性を増大せるを正しく評價する。サウンド、フィルムのテストをなす時にはそのサウンドが再現された事物の本質を現してゐるや否やが考へられねばならない。

その上委員會は會期中の委員會に於ては何處でも取扱ふことが出來ず、而もどこか特殊な地方では可能的であるかも知れないやうな材料を蒐集した。

第四回會議は千九百三十三年ベルリンに於て開催の豫定であり、第五回はパリの豫定である。プラグは第六回を開催し度いと許可を求めてゐる。ベルリン會議とウイン會議との間では第十一回獨立映畫週間がベルリンに開かれ、第十二回も出來たら開かれるであらうが、その時日及場所は未だ定つてゐない。

今回の會議の組織は仕事の内容意義に従つて都合のいゝやうに改變せられた。だから數國の人々から立派な會議であるといはれたことは決して誇張ではない。

## 教育映畫時報

### 群馬縣廳映畫聯盟

教育映畫の普及發達上最も有效な又最も根本的な仕事は、映畫利用方法を合理化し教育映畫事業を統制化することであることは、既に知り盡されてゐるやうであるが、その割合にその仕事は進捗しない觀がある。かゝる折柄、群馬、香川兩縣で映畫聯盟の結成を見たことは眞に慶ばしいことである。就中、群馬縣映畫聯盟は曩に岐阜縣映畫教育聯盟に於けるが如く、縣廳内の映畫關係局課の聯盟であつて、同じ聯盟といふ名稱でも、意味は大いに異つてゐる。若し我國に於ける地方映畫活動の中心がこうして作られてゆくならば二百三十六臺の所有映寫機と二千八百五本の所藏フィルムとは現在の幾層倍かの効果を擧げることが出來るであらう。映畫聯盟の結成について種々研究もされ計畫もせられてゐるやうであるが、道は案外近きに在る。映畫聯盟の結成は先づ各府縣廳内に於ける映畫關係各課の理解と協同とに發せられぬばならない。以下縣廳報告を抜抄する。

一、聯盟成立に至りたる事情經過



當縣廳内ニハ十班ノ映畫班アリ、各班共夫々ノ使命ヲ持シ活動シツツアルモ、何等ノ連絡ナク個々ノ活動ヲナシ、加之管内地方各種團體ニ於テハ映畫ニ依リ地方教化ノ資ニ供スル機會多キヲ加ヘ來リシニ鑑ミ、少ク共廳内映畫班ノ統一連絡ヲ圖リ、且又地方利用團體トノ連絡ヲ密ニシ大衆指導ノ嶄新ナル機關タル映畫ノ利用ヲ立體的ニ一層有效ナラシムル爲メ、本年一月三十日第一回ノ廳内映畫關係課長及主任ノ承認ヲ經テ去ル三月十九日第二回ノ映畫關係者懇談會ニ於テ聯盟成立ス。

二、聯盟の規約（別記の通）

三、加盟者名簿

群馬縣廳	學務部	教育課
同	社寺兵事課	同
同	社會課	同
同	內務部	農務課
同	農務課	商工課
同	商工課	保安課
同	警察部	衛生課
同	衛生課	工場課
同	工場課	健康保險課

日本赤十字社群馬支部

群馬縣廳映畫聯盟規約

- 第一條 本聯盟ハ群馬縣廳映畫聯盟ト稱シ廳内映畫班ヲ以テ組織ス
- 第二條 本聯ハ各映畫班ノ連絡ヲ圖リ其ノ教化的效果ヲ發揮スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本聯盟ハ左ノ事業ヲ行フ
  - 一、打合會ノ開催
  - 二、開催上ノ相互連絡
  - 三、其他必要ナル事項
- 第四條 一、顧問 若干名
  - 各映畫班關係課長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ推ス
- 二、常任理事 一名
  - 加盟班ノ推薦ニ依ル



## 香川縣映畫聯盟の創立

六六

香川縣映畫教育聯盟は昭和七年四月創立せられたもので、五月第一回巡回映畫を開始し、二班の巡回映寫班を派遣し、十二ヶ所にて映寫した。尙、六月上旬高松市玉藻座に於て第一回映畫鑑賞會を開催した。

左に聯盟規約を紹介す。

### 香川縣映畫聯盟規約

- 第一條 本聯盟ハ香川縣映畫教育聯盟ト稱シ事務所ヲ香川縣廳社會課内ニ置ク
- 第二條 本聯盟ハ加盟各團體相提携シ映畫教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第三條 本聯盟ハ前條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ
  - 一、映畫ノ定期巡回上映
  - 二、優秀映畫ノ推薦並鑑賞會ノ開催
  - 三、映畫ノ借入及貸與
  - 四、映畫ノ相互交換使用

- 五、講習講演會及研究會ノ開催
- 六、映畫教育關係資料ノ刊行
- 七、其他必要ナル事項

第四條 本聯盟ハ左ノ者ヲ以テ會員トス

- 一、各官公私立學校
- 二、市町村
- 三、縣郡市教育會、神職會、佛教會、男女青年團、婦人會等
- 四、同一市町村各種團體及其ノ聯合團體

第五條 會員ノ種類ヲ左ノ如ク分ツ

- 第一種 年額五拾圓ヲ納ムルモノ
- 第二種 年額參拾圓ヲ納ムルモノ
- 第三種 年額拾圓ヲ納ムルモノ

第六條 第一種會員ハ年六回第二種會員ハ年三回第三種會員ハ年一回聯盟映畫班ノ巡回ヲ受クルモノトス  
但シ電氣代其他雜費ハ會員ノ負擔トス

第七條 本聯盟ニ左ノ役員ヲ置ク

- |      |    |          |
|------|----|----------|
| 理事長  | 一名 | 理事ノ互選ニ依ル |
| 副理事長 | 一名 | 右ニ同シ     |

六七



理事 七名 評議員ノ互選ニ依ル(内二名常任理事)  
評議員 十二名 會員ノ互選ニ依ル

第八條 本聯盟役員ノ任務左ノ如シ

理事長 本聯盟ヲ代表シ事務ヲ統括シ會議ノ議長トナル

副理事長

理事長ヲ輔佐シテ理事長不在ノ時ハ代理ス

理事 本聯盟ノ事務ヲ處理ス

評議員 重要ナル事項ヲ決議ス

第九條 本聯盟ニ顧問ヲ置クコトヲ得

第十條 本聯盟ニ幹事及書記ヲ置クコトヲ得

第十一條 本聯盟ノ經費ハ加盟團體ノ釀出金補助金寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月卅一日ニ終ル

附 則

本聯盟ノ事業實施ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

香川縣映畫教育聯盟事業施行細則

第一章 定期巡回

第一條 映畫ハ一日二回以内トス但シフィルムノミノ配給ヲ受クルモノハ此ノ限ニ非ス

第二條 巡回ノ定月ハ五、七、八、一、二、三トシ第二種並ニ第三種會員ニ在リテハ右ノ内適宜取捨スルコトヲ得

第三條 申込ハ五月ノ分ニ在リテハ三月中ニ、七月ノ分ニ在リテハ五月中ニ以下之ニ準シ様式第一號(署)ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第四條 映寫ノ日時ハ前項申込希望ヲ參酌シテ本聯盟ニ於テ決定ノ上之ヲ通知ス

第五條 映畫ハ理事會之ヲ選定編成シ凡ソ一回八卷前後トシ、プログラム及内容等ハ略々一ヶ月前ニ通知スルモノトス

第六條 技師及解説者ノ日當ハ別表ノ如ク會員ノ負擔トス

第七條 技師及解説者ノ旅費、映寫機械及フィルムノ荷造運搬費、光源料(電氣瓦斯等)其他映寫會ニ要スル諸經費ハ總テ會員ノ負擔トス

第八條 フィルム使用期間ハ割當ノ當日正午ヨリ午後十一時迄トシ、次回映寫スヘキ會員ニ於テ前回會員ヨリフィルム其ノ他ノ器具ヲ受取ルヘシ

第二章 映畫貸與

第九條 本聯盟ノ映畫ハ之ヲ貸付ス但シ營利ヲ目的トセサル限ニ限ル

第十條 映畫貸與ヲ受ケントスル者ハ期日二十日前迄ニ様式第二號(署)ニ依リ本會ニ申込ムヘシ

第十一條 フィルムノ料金ハ別表ノ如ク其他ハ前五、六、各條ニ準ズ



賃金表

種類	フィルム	技術者解説者旅費日當	備考
會員	一日一卷 八十錢	日當一人一日壹圓 旅費三等往復實費 乗物料金實費	日用ハ映寫當日ノ分ノミトス 宿泊ヲ要スル場合ハ適宜賄ハレ度

講習會も、本協會が主催して五月以來二回開催致しました。即ち五月映寫技術並解説法講習會を九日間に涉て開催し、全市九十六校の學校職員は各校嚴重に二名宛出席し二名乃至三名に機械一臺宛をあてて徹底的講習をやりましたが、之が非常に効果がありまして次の様な形になつて現れて參りました、從て現在の巡回映寫は機械フィルムを協會より貸出しますが、その實施は各校自體がどんくやつて居りますから一ヶ年約六百回の如き多數の映寫會をやり得る譯であります。

小學校數

九六

映寫技術完全なるもの

七五

稍不十分なるもの

八

自ら映寫し得ざるもの 一三 (當方より係員出張映寫)

第二回は八月夏期講習會を開催、會員二百五十名に達し本市映寫教育運動の進展上大に効果があつたとを確信してゐます……(名古屋市教育映寫協會三代主事よりの來信)

文部省推薦映畫目錄

(自二八七號  
至三三八號)

推薦番號	種類	映畫題名	卷數	價值	觀覽指定	製作者
二八七	寫實	ラ ン ゴ	八	娛樂的ナシ	指定	米國、パラマウント映畫會社 日本、同
二八八	時代劇	荒木又右衛門	二〇	娛樂的ナシ	指定	同 日本活動寫真株式會社
二八九	兒童劇	少年軍	五	娛樂的兒童向	指定	同 日本活動寫真株式會社
二九〇	教化劇	此の子を見よ	四	教育的ナシ	指定	同 中村映畫教育社
二九一	人情劇	三人姉妹	七	娛樂的ナシ	指定	米國、フォックス映畫會社 日本、同



二九二	人情劇	名門藝術	九娛樂的ナシ	米國、パラマウント映畫會社 日本、同
二九三	實寫	バード少將南極探險	八教育的ナシ	米國、パラマウント映畫會社 日本、同
二九四	人情劇	巴里の屋根の下	九觀賞的成人向	佛國、トールピス會社 三
二九五	人情劇	モンブランの嵐	一〇娛樂的ナシ	獨國、アーファ會社 地、上
二九六	實寫	輝く銀界	二娛樂的ナシ	都商會教育活動寫眞會 同、商
二九七	時代劇	金的力太郎	一〇娛樂的成人向	片岡千恵藏撮影所 日本活動寫眞株式會社
二九八	戰爭劇	最後の中隊	八娛樂的ナシ	獨國、ウーファ會社 東和商事合資會社

二九九	漫畫	春	一娛樂的ナシ	橫濱本洋商行會
三〇〇	人情劇	スキピイ	九娛樂的ナシ	米國、パラマウント映畫會社 日本、同
三〇一	漫畫	摩天樓建築	一娛樂的ナシ	米國、パラマウント映畫會社 日本、同
三〇二	人情劇	暴風雨の薔薇	一二娛樂的成人向	松竹キネマ株式會社 同
三〇三	實寫	極北に進むソヴェト	六教育的ナシ	露國、ソユーズ・キノ ヤ
三〇四	人情劇	少年世界	八娛樂的ナシ	米國、フアースト 日本、ワイナル映畫會社 フアーストナショナル映畫會社
三〇五	冒險劇	トレイダ・ホーン	一三娛樂的ナシ	米國、メトロ ゴールドウインメーカー會社 日本、同



三一九	三二八	三二七	三二六	三二五	三二四	三二三
實寫	實寫 (九ミ リ半)	人情劇	人情劇	人情劇	人情劇	戦争劇
白銀の亂舞	水	鐵壁の男	榮冠涙あり	ジム・ミイ	二つの世界	火の山
九娛樂的成人向	一娛樂的ナシ	九娛樂的ナシ	一〇娛樂的成人向	七娛樂的ナシ	八娛樂的成人向	一〇娛樂的ナシ
獨國、ゾーカル映畫會社	同塚本閣人治	米國、パラマウント映畫會社 日本、同	不二映畫製作社	佛國、ゴーモン映畫會社 ヤ	英國、ブリテイッシュユ インターナショナル映畫會社 清、水、洋	獨國、ヴァンダラ デラツク映畫會社 三、映

三二二	三二一	三二〇	三〇九	三〇八	三〇七	三〇六
人情劇	實寫	人情劇	喜劇	人情劇	史劇	人情劇
乗合馬車	アフリカは語る	トロイカ	百萬	慘劇の波止場	ワイルドロー	間諜X27
八娛樂的ナシ	八娛樂的ナシ	一一娛樂的成人向	七娛樂的成人向	七娛樂的ナシ	一二教育的ナシ	一〇觀賞的成人向
米國、コロンビア映畫會社 日本、パラマウント映畫會社	米國、コロンビア映畫會社 日本、パラマウント映畫會社	獨國、ヒザ・ウスニア 三、映	佛國、トービス會社 東和商事合資會社	米國、メトロ ゴールドウインメイヤー會社 日本、同	獨國、エメルカ映畫會社 清、水、洋	米國、パラマウント映畫會社 日本、同



三三三	三三二	三三一	三三〇	三二九	三二八	三二七
人情劇	人情劇	人情劇	教化劇	人情劇	人情劇	喜劇
ル・バル(舞踏會)	旅は青空	チャンプ	人生案内	スリーキイ	私の殺した男	時の氏神
八娛樂的成人向	八娛樂的成人向	一〇娛樂的一般向	一〇教育的成人向	九娛樂的一般向	八觀賞的成人向	六娛樂的成人向
佛、ヴァンダル・デラック社 地上映畫社	片岡千恵藏撮影所 日本活動寫眞株式會社	米國、メトロ ゴールドウイン・メイヤー社 日本、同社	露國、メジラポム 扶桑商事株式會社	米國、パラマウント映畫會社 日本、同社	米國、パラマウント映畫會社 日本、同社	同日本活動寫眞株式會社

三二六	三二五	三二四	三二三	三二二	三二一	三二〇
人情劇	人情劇	實寫	實寫	人情劇	喜劇	喜劇
上陸第一歩	熊の出る開墾地	生存の闘争	猿と人間	都會の世紀末	夫婦うちあけ話	國士無雙
一〇娛樂的成人向	一〇娛樂的成人向	五教育的ナシ	八教育的ナシ	七娛樂的ナシ	五娛樂的成人向	九娛樂的成人向
同松竹キネマ株式會社	同不二映畫製作所	露國、ソユーズ・キノ ヤマニ洋行	露國、ウクラインフィルム社 地上映畫社	米國、ワーナー ブラザーズ映畫會社 日本、ワーナー・ブラザーズ ファストナショナル映畫會社	同日本活動寫眞株式會社	片岡千恵藏撮影所 日本活動寫眞株式會社



三三四	人情劇	オーバー・ゼ・ヒル	九	教育的 娯樂的 ナシ	米國、 日本、 同	フオックス 映畫會社
三三五	人情劇	青の光	九	娯樂的 ナシ	獨逸、 三	ゾーカル 映畫會社
三三六	人情劇	ブレナー博士	七	娯樂的 成人向	米國、 日本、 同	フオックス 映畫會社
三三七	人情劇	歡呼の涯	九	娯樂的 成人向	米國、 日本、 同	パラマウント 映畫會社
三三八	人情劇	ロビンソン・クルーソー	八	娯樂的 ナシ	米國、 日本、 同	ユニナイテッド アーチスト 社
三三九	人情劇	母	八	娯樂的 成人向	米國、 日本、 同	ワーナー ブラザーズ 映畫會社
三四〇	實寫	コンゴリラ	八	娯樂的 ナシ	米國、 日本、 同	フオックス 映畫會社

三四一	史劇	忠臣藏	二	娯樂的 ナシ	同	松竹キネマ 株式會社
-----	----	-----	---	-----------	---	---------------

昭和七年度優良賞牌映畫

文部省推薦映畫「忠臣藏」は、三月九日民衆娯樂調査委員會に於て審査の結果、優良映畫賞牌を授與せらるゝことに内定した。因みに昨年度に於て本賞牌を授與せられた映畫は「こがねの花」「蛙は蛙」「校長先生」「荒木又右衛門」の四種である。



## 文部省民衆娛樂及び映畫關係事務近況

### 農村娛樂調査

農村娛樂問題の重要性は今更喋々する迄もなく明らかなことで、文部省でもその施設には考慮を拂つてゐるが、問題の性質が複雑であつて然も關係の範圍が廣汎であるが爲に、非常な困難を伴つてゐる。然るに最近に於ける農村問題の趨向は愈娛樂施設の緊要度を高めてゐるので、昨年十月次の様な事項を調査し、將來の方針を樹立する上の參考資料を蒐集する爲め道府縣廳に依頼した。

#### 調査事項

- (1) 農漁山村に於て現に行はれつつある娛樂の種類及び愛好せらるゝ順位。
- (2) 前項に於て記入したる各娛樂に就き、その行はるゝ地域、季節、及び狀況の概要。
- (3) 農漁山村に於て現に行はれつつある興行物娛樂の種類及び愛好せらるゝ順位。
- (4) 農漁山村に於ける現在の娛樂は各地方の娛樂的要求を満足せしめつつありや否やに關し地方の實情の概要。
- (5) 農漁山村に於て娛樂に關し施設して相當實績を挙げたるものあらばその實例。
- (6) 農漁山村に對する娛樂施設及び方針。

而してその後編整を急ぎつゝあるが、各方面よりの希望あるまゝ不取敢その一部を取纏め本年二月中旬之を速報した。その概要を述べれば次の如くである。

「農村に於ける娛樂の中、最も勢力のあるものは映畫とスポーツであつて、特に郊村地帯、農村地帯等にこの現象が著しい。傳統的な郷土娛樂も亦相當勢力を持つてゐるが、然し乍ら一方映畫の如き新興娛樂に蠶食せられつゝある傾向も亦否むことが出來ない。郷土娛樂の最も維持傳承せられてゐるのは山村地帯であり、盆踊が郷土娛樂の王者である。漁村地帯は山村地帯と相似な所があるが然しそこにも亦映畫及びその他の興行物的娛樂の色彩の濃くなりつつあるを知るのである。

かくの如き傳統的娛樂の衰頽に對し、一方では新しい娛樂の供給不十分なる爲め、一般農民はその娛樂的欲求を満足するを得ない狀況にある。かゝる狀況に對し、各府縣の施設も亦未だ不十分にして、中には相當留意せるものもあるが未だ見るべきものがない。即ち農村娛樂施設はその重要性大なるに拘らず、全體的には尙創始期にありと云はざるを得ない。



## 浅草映畫常設館観客調査

八二

文部省に於ては、豫て映畫興行が一般大衆の趣味思想等に及ぼす影響が大きく社會教育上憂ふべきものが少くないことに鑑み、昨年から興行映畫に就てはその封切状況の詳細な調査を試みてゐるが、興行の重要な一要素である観客に就ては青少年といふが如き限られたる小範圍以外には調査が及んでゐないので、今回愈々相當大規模な観客調査に着手することとなつた。而もこの計畫に就ては幸ひ内務省警保局の檢閲當局の熱心なる賛同を得たので殆ど内務文部兩省の協同調査に近き意味を以て實現されることになり、正にこの方面の調査に一新機軸を作ることになつた。かくてこの調査はやがては全國に亘る、大調査に迄擴大せしむる豫定であるが、今回はその前提として浅草公園内所在十一常設館に就いてのみ調査を行つた。

### 調査計畫

#### 一、質問票に依る調査

- (1) 調査事項 (イ)常設館の設備内容、(ロ)興行法、(ハ)観客入場数及び種別、(ニ)観客の嗜好傾向
  - (2) 常設館をして右事項記載質問票に記入せしむ。
- #### 二、實地に依る調査

- (1) 日時 昭和七年十一月廿日及び廿二日、兩日共午前十時より午後八時迄。
- (2) 場所 浅草公園内十一常設館
- (3) 調査事項 (イ)入場数、(ロ)男女別、(ハ)大人小人別、(ニ)職業別、
- (4) 調査方法 文部省、内務省、象湯警察署、浅草興行組合より調査員を派遣し、観客を煩はすことなく、實地調査す。

右の中、實地調査の結果の一部は、昨年十二月十四日發表したが、被調査常設館は總數十一個で、その中の六個が封切館、他の五個が非封切館、その定員總數は總計八千九百十三人である。今それら常設館の観客の動きを見るに、平日に於ては、朝千六百十一人、晝七千百六人、夜八千三百二十二人と、晝から夜へかけて急増し、男子客が常に壓倒的多數を制してゐるが、夜になると婦人も相當入場してゐる(夜、男五八一一人、女二〇五四人)。而して子供の入場者は夜間に於ける四百五十七人を最高とする。休日の入場数は一般に平日より多いが殊に夜間子供の入場者は殆んど倍加してゐる(平日四五七人、休日八五七人)。

観客の種類は日時に依り又日本物上映館、外國物上映館の別に依り更に封切館と非封切館との別に依つて各異なるが、之を概括すれば、日本物上映館は一般に職工労働者、中小商店員が多きを占め休日及び夜間には勤人も相當數を占めてゐる。外國物上映館が之と異なるは、職工労働者の少きと、勤人及び學生の多きことである。この傾向は特に封切館に著しい。



## 第三回映寫技術者講習會

八四

昭和五年以來、東京及び各地に於て開催せる映寫技術者講習會を、今年も亦左記の通り開催し、各地共講習者百名以上に及び盛會であつた。その詳細は次の通りである。

一、會場 東京高等工藝學校（東京市芝區新芝町）

二、會期 十二日一日より十二月七日迄

一、時間 毎日午前九時より午後四時

### 一、講習科目及講師

映畫教育の使命	文部省社會教育局庶務課長	小尾 範治
映寫機の構造及び取扱	理化學研究所員	石 動 弘
映寫と電氣	東京工業大學教授	尾 本 義 一
フィルムの性質及び取扱	東京高等工藝學校教授	鎌 田 彌 壽 治
發聲映畫概論	早稻田大學教授	山 本 忠 興
映寫の設備と取締	警視廳保安課長	重 田 忠 保

青 地 忠 三

映寫の實際

實習及見學

寫眞化學研究所その他

### 一、講習員資格

官公廳、學校、公共團體の映畫關係者（各地之に準ず）

○

### 一、會場

大阪工業大學（大阪府北區東野田町九丁目）

### 二、會期

自一月三十日（月）至二月四日（土）

### 三、講習科目及講師

映畫教育の使命	文部省社會教育局庶務課長	小尾 範治
映寫機の構造及取扱	理化學研究所員	石 動 弘
映寫と電氣	大阪工業大學教授	七 里 義 雄
フィルムの性質及取扱	大日本セルロイド株式會社技師	作 間 政 介
發聲映畫概論	大阪工業大學助教授	藤 本 永 三
映寫の設備と取締	大阪府保安課長	拓 植 文 雄
映寫の實際		交 野 宗 一
實 習		

八五



- 一、會場 九州帝國大學工學部講堂（福岡市外箱崎）
- 二、會期 自二月一日（水）至二月七日（火）
- 三、講習科目及講師

映畫教育の使命	文部省社會教育官	中田俊造
映寫機の構造及取扱	九州帝國大學助教	和田正雄
映寫と電氣	九州帝國大學助教	野田健三郎
フィルムの性質及取扱	理化學研究所員	石動弘
發聲映畫概論	九州帝國大學教授	難波幸一
映寫の設備と取締	福岡縣保安課長	吉原秀夫
映寫ノ實際		青地忠三
實習及見學		

### 文部省映畫製作狀況

最近製作を完了した映畫は、健康美、飛行機の話、御親閲、蜜蜂、飛行機の話、隅田川等であるが、その内、本號に紹介したるものを除き、その映畫内容は概そ次の如くである。

**御親閲** 昭和七年十一月 全二卷 六〇〇米 二四〇圓  
大阪城東練兵場

昭和七年十一月、天皇陛下陸軍特別大演習の砌、大阪城東練兵場に於て近畿地方の男女青年團員、在郷軍人、大學専門學校、中等學校學生生徒、青年訓練所生徒等諸團體御親閲の御模様を撮影せるもの。

**蜜蜂（養蜂篇）** 全二卷 五八五米 一三四圓  
農學博士徳田義信氏を指導者として約一ヶ年に亘つて撮影せるもの。蜜蜂の生活状態、その飼養の實況、蜂蜜の採取等一般養蜂状況を撮影せる科學映畫である。

**隅田川** 全二卷 四七〇米 一八八圓  
隅田川を上下し石炭運搬を業とする船頭親子の不便なる日常生活に配するに隅田川の上流下流の現代風景を加へて水上生活者の實況を撮影せる一篇の教育映畫詩である。

尙、昨春秋、文學博士鳥居龍藏氏並に文部省圖書監修官碧海康温氏を各指導者とし、本省撮影班を滿洲に派遣して、四十日の日子を費して製作したる滿洲事情映畫は目下整理編輯中の處總卷數八



卷となる見込で、利用目的に依つて適當に組合せることが出来るやう次のやうな構成にする豫定である。

- (1) 序 篇 滿洲の地理概要
  - (2) 産業篇 農業、特に大豆生産を中心とし牧畜、林業、製鹽、鑛業等
  - (3) 地方篇 關東州、奉天、奉天以外の南滿各地、ハルビン、吉林、鄭家嶺、通遼等。
- その他「公民教育に關する映畫」及び「臺所に關する映畫」等も近々完成すべく目下撮影進捗中である。

（第五條）「フィルム」ノ頒布ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

一、皇室ニ關スル「フィルム」ハ營利ノ目的ヲ以ツテ使用セザルコト

二、皇室ニ關スル「フィルム」ハ第三條但書ニ掲グル者ニ對スル外之ヲ讓渡又ハ貸與セザルコト

三、皇室ニ關スル「フィルム」ハ特ニ保管ニ注意シ滅失又ハ盜難ニ罹リタル時ハ其ノ顛末ヲ詳記シ直ニ之ヲ文部省ニ報告スルコト

四、複製改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘサルコト

五、「フィルム」ヲ讓渡シタルトキハ讓受人ト連署シ其ノ旨遲滯ナク文部省ニ報告スルコト

前掲第一號乃主第四號ハ「フィルム」ノ讓渡ヲ受ケタルモノ又ハ貸與ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス。

### フィルム頒布に就て

(規程摘要)

#### 一、頒布フィルム

後掲目錄に記載のものはすべて頒布す。一組二卷以上のものは、希望により各卷分割して頒布す。但し目錄中○印のものについては次の事項に依る取扱をなす。

文部省製作活動寫眞「フィルム」頒布規程抜抄

(第三條)「フィルム」ノ頒布ヲ受ケムトスル者ハ其ノ旨文部省ニ申請スベシ、但シ皇室ニ關スル「フィルム」ニ付テハ官衙學校圖書館博物館公共團體公益團體新聞社及雜誌社ニ限り申請スルコトヲ得

(第五條)「フィルム」ノ頒布ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

- 一、皇室ニ關スル「フィルム」ハ營利ノ目的ヲ以ツテ使用セザルコト
  - 二、皇室ニ關スル「フィルム」ハ第三條但書ニ掲グル者ニ對スル外之ヲ讓渡又ハ貸與セザルコト
  - 三、皇室ニ關スル「フィルム」ハ特ニ保管ニ注意シ滅失又ハ盜難ニ罹リタル時ハ其ノ顛末ヲ詳記シ直ニ之ヲ文部省ニ報告スルコト
  - 四、複製改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘサルコト
  - 五、「フィルム」ヲ讓渡シタルトキハ讓受人ト連署シ其ノ旨遲滯ナク文部省ニ報告スルコト
- 前掲第一號乃主第四號ハ「フィルム」ノ讓渡ヲ受ケタルモノ又ハ貸與ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス。



二、頒布價格

後掲目錄に記載の通り（全部一メートル四十錢の割）

三、頒布申請の手續

フィルム頒布を受けんとする者は別記様式の頒布申請書を本省に差出すこと。

但し、フィルム觀覽の上頒布を受けんとする者には希望フィルムを本省映寫室に於て試寫供覽す

四、代金納入及びフィルム交付

フィルムの代金は、申請書受理後本省より送付する納入告知書により最寄日本銀行本支店又は代理店に納入のこと。然る時は直ちに本省よりフィルムを交付す。

但し、この場合フィルムの送料及び荷造費を要せず。

五、其他

フィルムの使用特に急を要する場合其他詳細に關しては、口頭又は書面を以て文部省社會教育局庶務課に照會のこと。

六、頒布申請書様式

活動寫眞「フィルム」頒布申請書

一、フィルム名稱

卷數

昭和三年文部省告示第三百四十二號所定ノ事項ヲ遵守スベキニ付右御頒布相成度

年 月 日

申請者

住所

氏

名 ㊦

文 部 省 宛



## フィルム貸與に就て

(規程摘要)

九二

### 一、貸與フィルム

後掲目録中△印を附したるものに限り貸與す。

但し、皇室は關するフィルムは公益の目的を以て使用する者以外には貸與せず。

### 二、使用料

總て一卷一日に付金壹圓の割とす。

但し、往復共運送に要する日數は加算せざるも、使用期間満了の翌日中に發送せざる時は遲滯日數に對する使用料を追徴す。

### 三、運賃及荷造費

往復とも被貸與者の負擔とす。

### 四、貸與申請の手續

フィルムの貸與を受けんとする者は、別記様式による申請書をなるべく使用期日の一週間以前に本省に到着する様差出すこと。

### 五、使用料の納入

使用料は前納とし、本省に於て申請書受理後送付する納入告知書に依り最寄り日本銀行本支店又は代理店に納入のこと。

但し、急を要する場合は豫め郵便爲替にて前納するも差支へなし。

### 六、貸與申請様式

活動寫眞「フィルム」貸與申請書

昭和三年文部省告示第三百四十三號所定ノ事項ヲ遵守スヘキニ付左記ノ通「フィルム」御貸與相成度

記

一 フィルム名稱

卷 數

一 使用ノ目的

一 使用ノ期間

一 使用回数

一 使用場所

九三







フイルム名稱	卷數	米數	價格
△關東大震大火實況	五	一、一八〇	四七二・〇〇
△皇太子殿下御成婚の御儀	二	五四五	二一八・〇〇
△東宮同妃兩殿下神宮並山陵御參拜	三	八一五	三二六・〇〇
△秩父宮殿下立山御登山	二	四五二	一八〇・八〇
△觀菊會	二	三六五	一四六・〇〇
○皇太子殿下葉山海岸御水泳	一	二〇〇	八〇・〇〇
△運動競技の分解	二	五六五	二二六・〇〇
△女子の運動	二	五四五	二一八・〇〇
△麗はしき「日光」	二	四一二	一六四・八〇
△納税北國の少年	二	三三五	一三四・〇〇
△美談北國の少年	二	二三八	九五・二〇
△皇太后陛下御飼育の養蠶場	一	二八五	一一四・〇〇
△御渡歐の秩父宮殿下	一	二八五	一一四・〇〇
△日本アルプス縦走	二	五四八	二一九・二〇
△皇太子殿下樺太行啓	二	四三五	一七四・〇〇

△北海の海豹島	一	二六二	一〇四・八〇
△北海の樺太の産業	一	三一〇	一二四・〇〇
△復活せる早慶野球戦	一	三〇五	一一二・〇〇
△帆船走練習の大成丸	一	一六四	六五・六〇
△故郷の唄	五	一、一四五	四五八・〇〇
△日本安藝の殿島	二	四二五	一七〇・〇〇
△子供育て方	二	五九〇	二三六・〇〇
△傳染病の病原體	二	四二〇	一六八・〇〇
△蚊の一生と疾病の傳播	一	二六三	一〇五・二〇
△日本雪松島	二	四五五	一八二・〇〇
△壺(線畫)	一	三〇五	一二二・〇〇
△我國の製鐵工業	二	四七〇	一八八・〇〇
△我國の古武道	五	一、二四〇	四九六・〇〇
△情光	五	一、四一〇	五六四・〇〇
△雪の北越	一	二五五	一〇二・〇〇



△ 公衆東見物	△ 航空船にて復興の帝都へ	昔の競技	△ 蠅と毒	△ 日本橋立	海生の物	富士と五湖巡り	△ 奉公父を助けて	△ 第三回汎太平洋學術會議	△ 大正天皇御大喪の御儀	婦人の優しき力	△ 我國の火山	△ 親善人形のお使	この子の親光	鉄光
五	一	三	二	一	二	二	四	二	一	二	二	二	四	四
一、二七〇	二九五	六八〇	六一〇	二四〇	五二〇	三九〇	一、〇〇〇	二四〇	三〇五	一五七五	六一〇	四五五	一、〇〇〇	九九〇
五〇八・〇〇	一一八・〇〇	二七二・〇〇	三四四・〇〇	一九六・〇〇	三〇八・〇〇	一五六・〇〇	四〇〇・〇〇	一九六・〇〇	一二二・〇〇	二三〇・〇〇	二四四・〇〇	一八二・〇〇	四〇〇・〇〇	三九六・〇〇

陸上競技	△ 病毒の傳播 (線畫)	日本三景	我國の農業	動物界の母性愛	我が南洋	黒部峡谷探險	七つの夢 (線畫)	十和田湖探勝	女子の體育	乳兒の榮養	蛙	△ 冬の湖	△ ボートとその漕ぎ方
三	一	一	二	一	六	二	三	一	一	一	一	一	一
八九五	三一〇	二八五	五四八	二八九	一、六八〇	五八〇	六一〇	二六七	二九〇	三〇五	二七五	二八〇	二四七
三五八・〇〇	一二四・〇〇	一一四・〇〇	三一九・二〇	一一五・六〇	六七二・〇〇	三三二・〇〇	二四四・〇〇	二〇六・八〇	一一六・〇〇	一二二・〇〇	一一〇・〇〇	一一二・〇〇	九八・八〇
八〇・〇〇													



△悠紀主基齋田御田植祭	二〇五	八二〇〇
△御大禮の御儀	二	一四六〇〇
△悠紀主基齋田拔穂式	二	二三八〇〇
△閑院宮殿下御親閲 京都府青年訓練、學校教練	一	八二〇〇
△腸虫の發育と其感染経路	一	一六六〇〇
△人體寄生蟲と其の中間宿主	二	二二〇〇〇
△御大禮觀兵式特別觀艦式	二	二二〇〇〇
水泳	二	二二〇〇〇
有用動物「牛」	一	二二〇〇〇
體操	二	二二〇〇〇
實業補習教育 (都市の巻) (農村的の巻) (漁村の巻)	三	二二〇〇〇
魚の國 (線畫)	一	二二〇〇〇
雪國の一日	一	二二〇〇〇

赤石岳	二	五四五	二一八〇〇
駒ヶ岳の爆發	二	四八八	一九五二〇
△天皇陛下關西行幸	二	五八三	二三三二〇
△世界一週飛行ツェッペリン伯號	一	三〇五	一二二〇〇
△日出づる國	三	七九〇	三一六〇〇
△覺めよ國民	二	六〇五	二四二〇〇
○二つの世界 (漫畫)	一	三〇四	一二一六〇
○第五回明治神宮體育大會	三	八四五	三三八〇〇
△御親閲 昭和四年十一月水戸堀原練兵場	二	四四三	一七七二〇
△萬國工業會議	二	四九〇	一九六〇〇
△新宿御苑	一	二一三	一八五二〇
忠吉は歸つた (線畫)	一	三〇五	一二二〇〇
生きている力	五	一、四三〇	五七二〇〇
幼兒の運動	一	二二八	一九一〇〇
○皇后陛下東京女子高等師範學校行啓	一	二〇四	八一六〇〇



○ 櫻	○ 天皇陛下復興帝都御巡幸	一	一五二	六〇・八〇
石	昭 和 帝 都 油	二	二五八	一〇三・二〇
△	極東選手権競技大會 總裁宮殿下御招待	二	四〇〇	一六〇・〇〇
○	皇太后陛下東京音楽學校行啓	一	四七〇	一八八・〇〇
△	皇太后陛下東京音楽學校行啓	一	二七〇	一〇八・〇〇
○	海洋少年團 御親閲	一	二六〇	一〇四・〇〇
○	皇后陛下東京聾啞學校行啓	一	三〇〇	一二〇・〇〇
○	皇后陛下東京聾啞學校行啓	一	二六五	一〇六・〇〇
△	鹿島槍ヶ岳と下廊下	一	二七五	一一〇・〇〇
△	禮儀作法	二	四九五	一九八・〇〇
△	ガ一ラースの	二	五一五	二〇六・〇〇
○	鹽話	二	四一五	一六六・〇〇
○	全國男女青年代表御親閲	二	四八〇	一九二・〇〇
△	明治の輝	三	三六〇	一四四・〇〇
			六三〇	二五二・〇〇

明治神宮奉納神事舞	る	ば	(漫 畫)	二	三八五	一五四・〇〇
△教育勅語渙發四十年記念式	○御親閲	昭和五年十一月岡山練兵場		一	二九〇	一一六・〇〇
鯨	水	の	力	二	二〇〇	八〇・〇〇
北	伊	豆	震 災	二	四七五	一九〇・〇〇
輝	伊	豆	震 災	二	三七五	一五〇・〇〇
タ	ヌ	吉	の おま話 (漫 畫)	五	一、一五〇	四六〇・〇〇
陽	光	を	仰 ぐ	一	二九五	二一八・〇〇
五	一	ち	い ささん (漫 畫)	五	一、二〇〇	四八〇・〇〇
マ	ツ	チ	の 話	二	三〇〇	一二〇・〇〇
尾			話	二	一、五三〇	二二二・〇〇
小	笠	原	島	二	四三〇	二六八・〇〇
セ	メ	ン	ト	二	四四〇	一七六・〇〇
			業	三	七二五	二九〇・〇〇



心の力 (千代紙映畫)	一	三〇三	一二一・二〇〇
地震と震災	三	八三五	三三四・〇〇〇
○御親閱 昭和六年十一月熊本帶山練兵場	三	六二〇	二四八・〇〇〇
二化螟蟲と其驅除	三	一、〇二〇	四〇八・〇〇〇
狼は狼だ (漫畫)	一	三〇〇	一二〇・〇〇〇
健康美	三	七九五	三一八・〇〇〇
兄弟こぐま (漫畫)	一	三〇〇	一二〇・〇〇〇
○御親閱 昭和七年十一月大阪城東練兵場	二	六〇〇	二四〇・〇〇〇
蜜蜂 (養蜂篇)	二	五八五	二三四・〇〇〇
飛行機の話	三	九〇〇	三六〇・〇〇〇
鴨田川	二	四七〇	一八八・〇〇〇
海の底の話	一	二三〇	九二・〇〇〇

映畫に關する事項は

文部省社會教育局庶務課に

照合せられたし



終

